



# 北区 SDGs推進企業 取組事例集 令和7年度





# 北区 SDGs 推進企業取組事例集 令和7年度

## 目 次

北区長あいさつ	2
北区SDGs推進企業認証審査会会長あいさつ	3
北区SDGs推進企業認証制度とは	4
事業者向けSDGs推進セミナー	7

### 北区SDGs推進企業事例紹介

掲載企業一覧・マップ	8.9	13 株式会社スマイエ	22
01 瀧野川信用金庫	10	14 王子ゴム株式会社	23
02 テレネットジャパン株式会社	11	15 有限会社ビービーエスズキ	24
03 株式会社サンエー印刷	12	16 税理士法人ガイア	25
04 株式会社ジェイアール貨物・不動産開発	13	17 恒栄電設株式会社	26
05 東京ガスライフバル北株式会社	14	18 株式会社ゴカ	27
06 Easy to Live & Work株式会社	15	19 株式会社ひとまいる	28
07 有限会社劇団文化座	16	20 株式会社なとり	29
08 株式会社玉越工業	17	21 株式会社さくら総合福祉	30
09 玉川食品株式会社	18	22 株式会社旺栄	31
10 株式会社エガワ	19	23 アネス株式会社	32
11 有限会社給食普及会	20	24 株式会社ぷらっとマルシェ	33
12 あみ印食品工業株式会社	21	25 税理士法人西川会計	34

認証企業の声	35
--------	----

### 連携事例紹介

株式会社ひとまいる×株式会社旺栄	38
------------------	----



# 北区長あいさつ



東京都北区長  
やまだ加奈子

本区にゆかりのある「日本資本主義の父」と称される渋沢栄一翁は、その生涯を通じて「道徳経済合一」の理念を掲げ、経済的な活動と社会的貢献の調和を追求しました。その精神は、現代のSDGsの基礎とも言えるものであり、私たちが未来の社会を考える上で大きな指針となっています。

北区では、この渋沢翁の理念を胸に、令和5年度に23区初となる東京都北区SDGs推進企業認証制度を創設しました。SDGsの理念を尊重し、事業を通じてSDGs達成へ取り組む企業等を「北区SDGs推進企業」として認証し、その取組への支援により事業者の成長・価値向上を図るとともに、地域の活性化や事業者の継続的な発展及び社会課題の解決に寄与していくことを目的としています。この間、41社を認証させていただき、「北区SDGs推進企業」の皆さまは、地域の課題に積極的に貢献すると同時に、持続可能な未来づくりに向けた革新的な活動を展開しています。

本事例集では、認証企業の皆さまの社会的課題解決に向けた努力や成果をご紹介しております。それぞれの取組からは、地域との密接な連携、創意工夫、そして明るい未来への希望を感じ取ることができます。この一冊が、多くの方にとって持続可能な活動の参考となり、さらなる発展につながる一助となれば幸いです。

私たち北区は、今後も地域全体でSDGsの目標達成に向け、共に力を合わせていく所存です。

結びに、本事例集の発行にあたり、ご協力いただきました企業の皆さまに心より感謝申し上げます。

# 北区SDGs推進企業認証審査会会長あいさつ



北区SDGs推進企業認証審査会会長  
**永沢 映**

SDGsとは、2015年9月の国連サミットで全会一致で可決された「誰一人取り残さない」ことを目指している、17のゴール169のターゲットからなる持続可能な国際目標です。

東京都北区SDGs推進企業認証制度は、国際目標として示されているSDGsを企業向けに整理して明示しているものであり、国が示すSDGsの「宣言」「登録」「認証」の三段階の制度の中で最もハードルの高い制度となっています。この認証制度への申請の過程で、自社のSDGsは何がどの程度果たせていて、何が足りていないのかを具体的に理解することができます。

現代では、企業はコンプライアンス順守に加え、労働者、取引先、従業員、地域をはじめとした関係者に、優しく適切に関わっていくことが必要不可欠な社会となっています。それを学び、実践するための認証制度となっております。

私は約20年に渡り、北区で創業支援に関わってまいりました。その中で実感するのは、多くの区内企業、事業者は北区に愛着を持ち、地域と一緒に成長を目指しています。

SDGsの実践は、まさに企業が売上・利益を高め、さらに企業価値を上げ、地域と一緒に魅力的に成長するための指標でもあります。本事例集を活用して、一つでも多くの北区の企業がSDGsを学び、実践し、一緒に地域を発展していくことを楽しみにしております。



# 東京都北区SDGs推進企業認証制度とは



認証制度のロゴマークは、渋沢栄一翁の「論語と算盤」をモチーフに、北区の頭文字「K」をイメージしています。

SDGsの理念を尊重し、事業を通じてSDGsを達成するため、社会・環境・経済の3つの側面を含んだ取組を実践する企業等を、

「東京都北区SDGs推進企業」として認証します。また、認証企業のSDGsに貢献する積極的かつ継続的な取組をより発展できるよう、様々な支援を行います。こうした活動の促進によって区内企業等の成長・価値向上を図り、地域の活性化や事業者の継続的な発展及び社会課題の解決に寄与することが本制度の目的です。

北区ゆかりの偉人である渋沢栄一翁は、「持続可能な経済の発展は道理・道徳を伴うべき」と説いています。SDGs実践の先駆者といつても過言ではない渋沢栄一翁の精神を受け継ぎ、新しい時代に必要とされる事業者の取組を支援します。

## 区内事業者の皆さまへ

SDGsは、2015年に国連総会において全会一致で採択された地球規模の目標です。2030年までに達成を目指す17の目標と169のターゲットで構成され、貧困の撲滅、地球環境の保護、すべての人々の平和と繁栄の実現を目的とした包括的な行動計画です。国内においても、教育機関やメディア、SNS等を通じてSDGsが以前よりも身近な話題になっているのではないでしょうか。

令和5年度に施行された本認証制度では、北区内のSDGs推進企業の皆さまが、持続可能な経営に向けた素晴らしい取組を進めています。例えば、地域の事業者にとって大きな課題の1つである人材不足に対して、社員の働きやすさや採用方法の改善に向けた取組、また、これまで廃棄物として処分していたものに価値を見出し、地域の教育やコミュニティに還元しようとする取組など、本制度には

数多くの挑戦が集結しています。このような取組は、これまでの資本主義の考え方を将来のニーズや外部環境に適応していくとするパラダイムシフトであり、先行事例が少ないがゆえに困難を伴うものであると考えます。

このような先進的な取組も、単独で行うよりも共有し合いパートナーシップを構築することで、大きな成果につながることは言うまでもありません。北区では、SDGsを共通言語とした新たな地域経済の発展に向け、本事例集の発行や推進企業によるコミュニティ活動をはじめ、認証を受けたSDGs推進企業の皆さまの声を受けながら、支援の拡充を図っていきたいと考えております。多くの区内事業者の皆さまの参加をお待ちしています。



渋沢栄一翁

## 認証制度に参加するには

本制度に参加するためには、募集期間中に申請いただき、第三者機関による審査を経て認証を受ける必要があります。ここでは、認証を受けるまでの流れをご案内します。詳細は、北区公式ホームページをご覧ください。

URL: <https://www.city.kita.lg.jp/business/business-support/1018331/1011544.html>



【応募】

STEP 1	申請要件の確認	北区が認証企業に必須と考える8項目(第3号様式第1面に記載)の申請要件を満たしているか確認します。
STEP 2	SDGsチェックシートの作成	自社におけるSDGsの取組状況を、SDGsチェックリスト(第3号様式第2面)を用いて確認します。対象項目のうち、70%以上にチェックされていることが認証の要件となります。
STEP 3	SDGs達成目標の作成	認証企業として取り組む3つ以上のSDGs達成目標を設定します。 (うち1つ以上は「地域社会への貢献」に関連するもの)
STEP 4	必要書類の提出	申請に必要な書類を揃え、データで北区に提出します。

【認証審査】外部有識者等により構成される第三者機関による審査を踏まえ、区長が認証します。

【結果通知】審査の結果が郵送で通知されます。

【認証式】認証された企業に認証書を授与します。

- 認証対象は北区内に本社を有し事業を営む会社・個人事業主に加え、支店を北区内に有し事業を営んでいる会社・個人事業主も含まれます。本拠地が北区ではない事業者も認証の対象であり、申請することができます。
- 申請にあたっては、お問い合わせ窓口を設置しています。「SDGsが何か分からず」、「申請書の記入方法に不明点がある」、「目標がSDGsと結びついているか不安」など、認証制度に関するあらゆるお問い合わせを受け付けております。事業者の認証取得に向けて丁寧に対応いたします。
- 認証の有効期限は3年です。更新の申請をしていただくことで、認証の継続が可能です。
- 申請書類第3号様式のチェックリストは、地域の企業がSDGs経営に取り組むにあたって必要な視点が網羅的にまとめられたもので、チェックをつけていくことで自社のSDGs経営における現在地を把握できるツールです。本制度への申請に関わらず、ぜひ一度ご覧いただき、SDGsが地域の企業に何を求めているのかを確認することにお役立てください。

## 認証企業になると

認証企業になると、以下のようなメリットがあります。



認証ロゴマーク

- ◆認証ロゴマークを使用することができます。  
名刺等にロゴマークを付することで、SDGs推進企業であることを社外へアピールでき、社内の理解促進にもお役立ていただけます。
- ◆SDGs取組事例集をはじめ、企業の取組を「見える化」する資料を作成します。  
関係者とのコミュニケーションにご活用ください。
- ◆認証企業の企業名や取組を北区HP、区報などで広報します。
- ◆北区SDGsコミュニティに参加できます。  
勉強会や交流を通じて時代の潮流を捉えることができます。
- ◆事業運営資金調達のための区融資制度として、「事業活性化支援資金」を利用できるようになります。（別途要件あり）
- ◆認証式にて、認証書を授与します。認証式では、同期に認証された事業者と名刺交換など行っていただけます。



認証書サンプル

その他、認証企業の皆さまの声を取り入れながら支援の充実を図ります。

## 北区SDGsコミュニティ

「北区SDGsコミュニティ」は、区内でのSDGsの取組を広げ、地域全体のSDGs達成につなげていくことを目的としています。認証企業へのSDGsに関する情報提供等を通じてモチベーションの向上を図り、認証企業のSDGs経営の実践による「企業の持続可能な成長」につなげ、企業間の連携により「地域の持続可能な成長」を目指します。

令和7年度第1回目のコミュニティ活動は、チーム対抗の体験型SDGsカードゲームに挑戦しました。ゲームの前にSDGsに関する基礎講義を実施するとともに、ゲームを通じてSDGsと事業経営の関係性を学び、ビジネス拡大や脱炭素・ダイバーシティ尊重など、経済面と環境・社会面の両立への理解も深めることができました。各参加企業は楽しみながらかつ真剣に取り組まれており、非常に盛り上がりました。今後も、認証企業のニーズや最新動向を踏まえながらテーマを設定し、定期的に開催する予定です。



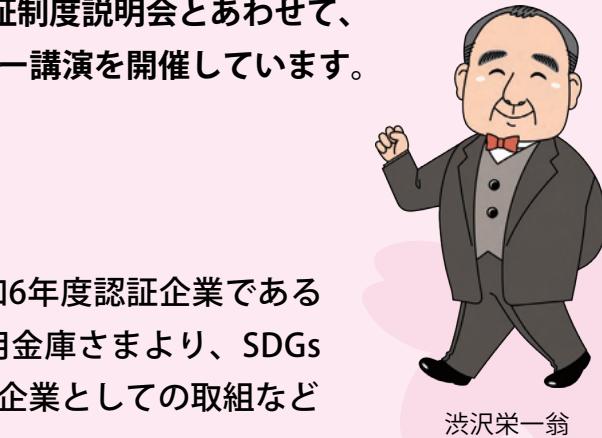
# 事業者向けSDGs推進セミナー 兼北区SDGs推進企業認証制度説明会

本制度では、申請方法や活動内容を解説する認証制度説明会とあわせて、事業者の方を対象としたSDGs経営に関するセミナー講演を開催しています。

## SDGs推進セミナー

令和7年度の「SDGs推進セミナー」では、令和6年度認証企業であるテレネットジャパン株式会社さま及び瀧野川信用金庫さまより、SDGsの推進や地域課題の解決に向けた実施内容、認証企業としての取組などについてご講演いただきました。

テレネットジャパン株式会社さまは、幅広く充実した取組を紹介いただきました。同社のSDGsの取組のベースにあるのが「身边にできる10のSDGs行動」カードです。社員の方々が常にこれを携帯することで、SDGsを身边なものにしています。また電力削減にも注力されており、その取組が、東京都HTT取組推進宣言企業（電力をH:へらす、T:つくる、T:ためる）において優良取組企業として表彰されました。



渋沢栄一翁

瀧野川信用金庫さまは、金庫のネットワークを活用し、区内企業の支援を中心にSDGsの取組を行っています。例えば、先進企業と業務提携を結び、人手不足の解消に向けた採用活動支援や、技術力を活用した地域企業に対するCO<sub>2</sub>排出量削減支援を行っています。また、福利厚生の一環として賞味期限が近い食料品等を安く購入できる「社会貢献型職域販売サービス」に登録し、フードロスの削減と従業員の家計に貢献されています。



このようなSDGsの取組を共有する機会を設けることで、多くの企業の学びやヒントとなり、北区内全体のSDGs経営の底上げにつながると考えております。

# 北区SDGs推進企業事例紹介

## ■掲載企業一覧

No.	企業名	代表者	設立年	区内所在地	事業内容
①	瀧野川信用金庫	安田 健一	1939年	北区田端新町3-25-2	金融保険業
②	テレネットジャパン株式会社	石川 知子	1990年	北区東田端2-9-6 クロコダイル第3ビル5階	情報通信業
③	株式会社サンエー印刷	岡村 和哉	1981年	北区田端6-1-1 田端ASUKAタワー17階	製造業
④	株式会社ジェイアール貨物・不動産開発	小山 靖仁	1994年	北区東田端1-16 田端信号場駅 総合庁舎4階	建設業・不動産業
⑤	東京ガスライフパレ北株式会社	増子 光	2009年	北区豊島1-28-2	生活関連サービス業
⑥	Easy to Live & Work株式会社	荷山 信之	2020年	北区豊島 (主たる事業所所在地) 豊島区駒込2-3-3 駒込北口ビル	学術研究、専門技術サービス業
⑦	有限会社劇団文化座	原田 愛	1955年	北区田端3-22-12	その他(演劇興行)
⑧	株式会社玉越工業	佐藤 文将	1959年	北区昭和町2-14-10	製造業
⑨	玉川食品株式会社	関根 康弘	1950年	北区豊島7-5-12	製造業
⑩	株式会社エガワ	中里 茂之	1972年	北区中里1-21-2	製造業
⑪	有限会社給食普及会	高橋 潤	1968年	北区田端5-14-5	卸売業
⑫	あみ印食品工業株式会社	塩谷 正樹	1952年	北区東田端1-6-2	製造業
⑬	株式会社スマイエ	塩飽 博哉	2011年	北区赤羽南1-3-1 高橋ビル6階	不動産業
⑭	王子ゴム株式会社	安部 真一	1949年	北区豊島7-7-17	卸売業
⑮	有限会社ビービーエスズキ	鈴木 心一	1955年	北区王子1-14-2 BBSビル	生活関連サービス業
⑯	税理士法人ガイア	野口 省吾	2006年	北区西ヶ原3-48-4 野口ビル3階	その他(税理士業)
⑰	恒栄電設株式会社	小林 永治	1955年	北区岸町1-8-17	建設業
⑱	株式会社ゴカ	五箇 公貴	1913年	北区王子5-18-12	卸売業
⑲	株式会社ひとまいる	前垣内 洋行	1982年	北区豊島2-3-1	卸売業・小売業
⑳	株式会社などり	名取 三郎	1948年	北区王子5-5-1	製造業
㉑	株式会社さくら総合福祉	張原 正義	2018年	北区岸町1-6-19 青葉ビル105号室	医療福祉業
㉒	株式会社旺栄	宿利 武生	1976年	北区王子本町1-4-13	建物管理業・飲食業・小売業
㉓	アネス株式会社	田中 崇彦	1955年	北区栄町1-3	建設業
㉔	株式会社ぷらっとマルシェ	椿 克美	2019年	北区志茂5-16-15	その他(複合サービス)
㉕	税理士法人西川会計	西川 豪康	2004年	北区赤羽南2-4-15	その他(複合サービス)

## ■ 掲載企業マップ



渋沢栄一翁



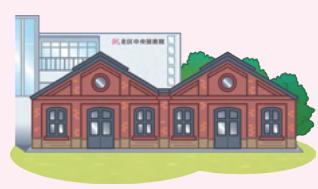
旧古河庭園



赤水門



飛鳥山公園さくら



中央図書館(赤レンガ)

# 瀧野川信用金庫

## 事業内容

瀧野川信用金庫は、北区に本店を置く地域に根差した信用金庫です。地域社会の一員として地域活性化、中小企業支援に取り組んでいます。

- 住所：北区田端新町3-25-2
- TEL：03-3893-6172
- URL：<https://www.shinkin.co.jp/takishin/>



## 北区とSDGs推進における連携協定の締結をしております

当金庫は経営理念の基本方針に「地域社会の繁栄に奉仕し、中小企業の発展と地域住民の豊かな暮らしの実現に貢献する」を掲げております。2021年にはSDGs宣言をしており、経営理念の基本方針を実現するためにSDGsを当金庫の活動に反映させております。

これまでの取組内容としては、「電気自動車やLED照明等の省エネ設備の導入」、「地域清掃活動への参加」、「金融教育授業の実施」、「ペーパーレス会議システム導入によるペーパーレス化の推進」等様々なことに取り組んでおります。

2023年7月31日には、地域におけるSDGsの輪を広げるべく、北区と「SDGs推進における連携協力に関する協定」を締結いたしました。協定締結を通じて、東京都北区SDGs推進企業認証制度の取引先事業者への周知、SDGs推進企業応援資金（北区制度融資：事業活性化支援資金）による資金面での応援を行っております。

今後も積極的に公民連携を図り、SDGsに取り組んでまいります。



▲北区と協定締結式

## オリジナルキャラクター「たきカワくん」の誕生

2024年2月に、カワウソをモチーフにした当金庫オリジナルキャラクター「たきカワくん」が誕生しました。デザインについては、役職員とその家族からデザイン案を募集し、応募があった53案の中から、役職員による投票等を経て決定いたしました。

「たきカワくん」は石神井川（音無川）で生まれたカワウ

ソであり、「誠実・真面目・仲間思い」の性格で、「子どもたちと遊ぶこと、お祭り」が大好きです。また、「たきカワくん」の夢としては「地域社会の繁栄」を掲げており、地域清掃活動や自治体主催イベント、金庫内各種行事等へ参加することを通じて、地域に貢献しています。街で「たきカワくん」を見かけた際はお気軽にお声がけください。



▲金庫イベントで「たきカワくん」登場



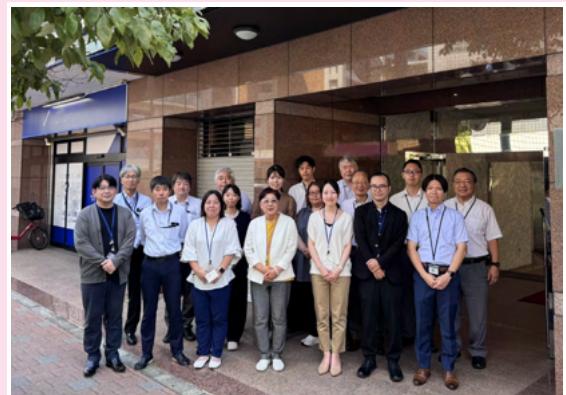
▲北区ポイ捨て防止キャンペーン

# テレネットジャパン株式会社

## 事業内容

インターネット等の情報ネットワークの工事・運用サービスをプロ品質でお届けします。幼稚園・保育園をはじめ、社会の安心安全を守ってまいります。

- 住所：北区東田端2-9-6 クロコダイル第3ビル5F
- TEL：03-3810-7229
- FAX：03-3810-6058
- URL：<https://tnj.co.jp/>



▲本社勤務社員が社長を囲んで

## 私たちはネットワーク技術者の専門家集団です

私たちは、インターネットおよび携帯電話網等の情報ネットワークに関する、設計、施工、運用保守等のサービスを提供する企業です。具体的には、携帯電話が24時間365日利用可能となるよう監視・保守を行っているほか、企業内の電話システムやコールセンターの構築にも対応しています。

また、幼稚園・保育園等における監視カメラやインターネットの設置工事、地震速報システムの提供など、幅広い分野において業務を展開しております。

さらに、想定される大規模災害に備え、北区ハザードマップ等を参考にしながら、事業継続のための対策を講じています。



▲ネットワーク保守

## SDGsは、まず自ら取り組めるところからスタート

社員は「身近にできる10のSDGs行動カード」を携帯し、日頃からSDGsの実現を目指しています。会社としても、年間2回の安全大会など社員が一堂に会する機会を活用して、SDGsの社内PRに努めています。

さらに、脱炭素をはじめ人権、環境、安全衛生、情報セキュリティ、公正取引などサステナブルな社会の実現に取り組んでいます。

2024年度には「北区SDGs推進企業」の認証をいただき、今後ますます取組を加速させていきます。

身近にできる10のSDGs行動カード▶



## 安心して過ごせる幼稚園・保育園づくりへの貢献

私たちは、幼稚園・保育園に記録用カメラの設置サービスを提供することで、園児の安全を守り、保育士の働きやすい環境づくりをサポートしています。地域の未来を担う子どもたちが、安心して過ごせる場所をつくることは、私たちの使命であり、地域全体の大切な取組だと考えています。

カメラの映像は、万が一の事故やトラブル時の迅速な対応を可能にするだけでなく、保育の質の向上にも役立ちます。保育士同士の情報共有や新人教育にも活用され、チーム全体のスキルアップを促進します。また、保護者の皆さんに対しても、透明性の高い保育情報を提供することで、園との信頼関係の構築に貢献しています。

もちろん、園児や職員のプライバシー保護には最大限の配慮を行い、安心してご利用いただけるよう、厳格な運用ルールのもとで管理を徹底しています。

私たちは、地域の皆さんと共に、子どもたちの健やかな成長を支える環境づくりをサポートいたします。



▲保育現場への記録用カメラ設置サービス

## 事業内容

1981年の創業以来半世紀、多様な商業印刷物、販促ツール等をフルラインでのワンストップサービスでご提供しています。

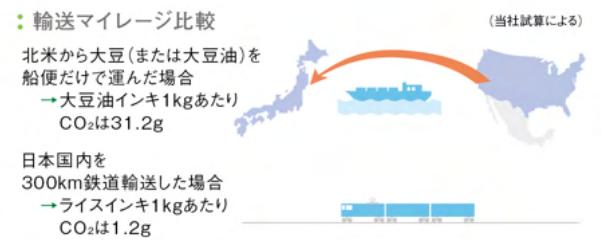
■ 住所：北区田端6-1-1 田端ASUKAタワー17階  
■ TEL：03-3823-3161  
■ FAX：03-3823-3162  
■ URL：<https://www.suna.co.jp/>



## 米ぬか油を使用した「ライスインキ」を開発・実用化

1993年に提供が始まった大豆油インキは、環境への関心の追い風を受け、現在は「植物油インキ」として一般化されています。しかし、世界的なCO<sub>2</sub>排出量削減の動きを受けて、大豆油のバイオ燃料への転用が加速し、非燃料部門への割り当てが厳しい状況になりつつあります。

そこでサンエー印刷は「輸送マイレージ」「地産地消」「バイオマスの利活用」に着目した新たなインキを考え、インキメーカー2社の協力のもと2008年に開発・実用化に成功しました。日本を中心としたアジア圏で生産される「米」、その米ぬか油を印刷インキに使用した、その名も「ライスインキ」。新たな切り口の環境配慮型インキとして、印刷物と環境課題に新しい風を吹き込みました。



◀ライスインキロゴマーク

## 人と地球にやさしい100%植物油インキで、限りある資源を守ります

現在、多くの印刷物で使われている石油系インキのほとんどには、大気汚染の原因物質とされるVOC（揮発性有機化合物）を発生させる石油系溶剤が含まれています。弊社で使用

している「ライスインキ」は、VOCの発生を抑えるため、植物油などを使用し石油系溶剤の割合を1%未満としたノンVOCインキです。

## □一カーボン社会を目指す、CO<sub>2</sub>の「見える化」

弊社では、印刷物製造に関わる材料や印刷加工時のエネルギー、それらのCO<sub>2</sub>排出量を正確に算定できるシステムを構築しました。印刷物の仕様から、1部あたりのCO<sub>2</sub>排出量を計算し印刷物のカーボンフットプリントを詳細なCO<sub>2</sub>排出量計

算書としてご提示することができます。  
CO<sub>2</sub>排出削減に取り組む企業・事業所の「見える化」に貢献します。

## 持続可能な社会の実現に向け、印刷会社として責任を果たします

私たちの身の回りにあふれ、生活になくてはならない存在となっている印刷物が、自然環境への負担になっていることはご存じでしょうか？

木材や石油などの天然資源、そして化学物質の使用は、自然環境だけでなく私たちの体にも影響を与えています。サンエー印刷では、こうした問題に対して真摯に取り組み、環境に配慮した印刷技術を導入しています。未来に責任を持つ企業として、印刷の各プロセスにおいて国連が採択したSDGs「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」に積極的に協力していきます。



▲サンエー印刷ロゴ



▲サンエー印刷SDGsロゴ

## 事業内容

事業所や倉庫、オフィスビル等の建物管理(設備管理・清掃・警備等)の他、建設・修繕工事、マンション・駐車場等の不動産管理運営を行っております。

- 住所：北区東田端1-16 田端信号場駅 総合庁舎4階
- TEL：03-6859-2101
- FAX：03-6859-2105
- URL：<https://www.jrf-fudosan.co.jp/>



## 当社の事業概要とSDGsへの取組

当社は、JR貨物の事業開発分野のグループ会社として、建設管理と建設工事、その他事業を中心に展開しています。具体的には、貨物駅構内の建物を中心にビルメンテナンスを手掛けるほか、建設・修繕工事、マンションや駐車場等の不動産開発・管理、フーズ事業などを行なっております。

また、これらの事業活動に加えて物流施設でのCO<sub>2</sub>排出削減、DX推進などにも積極的に取り組んでいます。北区に本社を構える企業の一員として、区の推進するSDGsの取組に賛同・協力し、地域社会への貢献と持続可能な成長を目指してまいります。



▲JR貨物東京レールゲートEASTでの建物管理

## 社外清掃活動、北区の観光スポット紹介を通じて社会に貢献

2025年4月から毎月2回、田端の本社前歩道及び植え込みに捨てられたごみ類の清掃活動を実施しています。この活動を継続することは、社員の北区コミュニティへの参画意識や環境問題等への興味関心の向上に役立っています。最近では、地元の方と挨拶を交わすことで交流も生まれています。

また、当社ホームページを通じて北区の魅力的な観光スポットや歴史的な建造物などを定期的に紹介しています。この活動で北区の魅力を地元の方だけでなく、より多くの方々に知っていただけるように情報発信しています。今後も、地域の皆さんと共に持続可能な社会づくりに貢献してまいります。



▲地域での清掃活動

## DX推進で働きがいのある会社の実現

建物の設備管理を手掛ける当社では、DX化の一環として、清掃業務にロボット掃除機を導入しました。その結果、従業員の身体的負担が軽減され、作業効率の向上や時間短縮にもつながっています。これは、SDGsの目標8「働きがいも経済成長も」に結び付くものです。

DXによる効率化と並行して人材育成も進めており、清掃技術の向上や情報セキュリティに関する研修にも力を入れています。

当社の建物管理業務は、関東・東海地区を中心に展開しており、オフィスビルや学生会館、倉庫など多様な施設で清掃業務を行っております。これからも、質の高い清掃サービスをDXで推進し、働きがいのある会社を実現します。



▲人と協働するロボット掃除機

## 事業内容

地域のガス設備点検やガス機器・水回り  
設備の修繕、改修工事、住宅リフォーム  
など、お客さま第一で安心・信頼の  
サービスを提供します。

■ 住所：北区豊島1-28-2  
■ TEL：03-3912-1850  
■ FAX：03-3912-0623  
■ URL：<https://tg-lifeval.jp/kita/>



## 誰もが安心・安全に働ける社会

東京ガスライフバル北では、「誰もが安心・安全に働ける社会」の視点から、以下の3つの活動を、持続可能な開発目標(SDGs)と紐づけながら推進しています。

### 1. シニア層の就業機会確保と他社への展開

65～68歳の社員がこれまで培った経験や技術を生かし、引き続き活躍できる就業機会を確保しています。また、取組事例をグッドプラクティスとして他企業とも共有し、地域全体での高齢者雇用促進につなげています。

### 2. ガスを切り口とした生活・防災情報の発信

ガスという身近なライフラインを通じて、日常生活や防災に役立つ情報を継続的に地域へ発信しています。これにより、お客さまとの信頼関係を深め、地域社会との連携強化を図っています。

### 3. ドライブレコーダーの導入と交通安全教育の徹底

全車両にドライブレコーダーを導入するとともに、従業員に対する継続的な安全運転教育を実施しています。この活動を通じて、交通事故リスクの低減を図り、従業員と地域の安全確保に努めています。

## 北区SDGs推進企業としての目標達成に向けた進捗

当社では、「誰もが安心・安全に働ける社会」の実現を企業の重要な責務と捉え、認証を受けた3つの目標の達成に向けた体制整備を進めています。具体的には、月1回開催している安全衛生委員会をSDGs推進の中核機関として位置づけ、委員会内で目標ごとに3つの班を編成しました。各班は、割り当てられた目標に対して、課題を共有し、改善策を検討し、具体的な取組の実施に向けた議論を継続的に行っています。以下に、当社によるSDGs推進の様子を紹介します。

### 1. シニア層の就業機会確保と他社への展開

- ・高齢になっても安心して働き続けられる職場環境の整備を目的に、該当従業員を対象とした実態調査を実施しました。働き方や職場に対する意見・要望を収集し、現状の課題を抽出しました。
- ・当社の就業継続を支援するメンター制度の導入にあたり、指導役に求められる要件やスキルを整理しました。指導役にはシニア従業員を配置し、これまで培ってきた知見やスキルを後進に継承していただけるよう、検討を進めています。

### 2. ガスを切り口とした生活・防災情報の発信

- ・地域に密着した生活・防災情報を定期的に発信できるよう努めています。年間スケジュールを策定し、定期的にテーマの検討と深堀りを行っています。
- ・「生活・防災ワークショップ」の開催を計画中です。毎年3回実施している「太陽光・蓄電池セミナー」との同時開催を検討しており、情報発信だけでなく、地域住民との交流の場となることを目指しています。

### 3. ドライブレコーダーの導入と交通安全教育の徹底

- ・従業員の交通安全意識の向上と交通事故防止を目的に、4輪車両へのドライブレコーダー設置を進めており、2025年7月をもって設置が完了しました。
- ・設置完了後は、運行データを基にした実践的な安全運転教育の実施を予定しており、教育内容の精査・体系化に向けた準備を進めています。従業員の安全運転の定着を図るとともに、事故の未然防止に取り組んでいきます。



▲目標別にワーキンググループを編成しています。

## 事業内容

経理代行、財務分析改善アドバイザー、チームビルディング実践指導などを行なっています。お客様のお困りごとの解決方法を、日々追及しております。

■ 住所：豊島区駒込2-3-3 駒込北口ビル  
 ■ TEL：090-5779-9174  
 ■ URL：<https://e-livework.co.jp/>

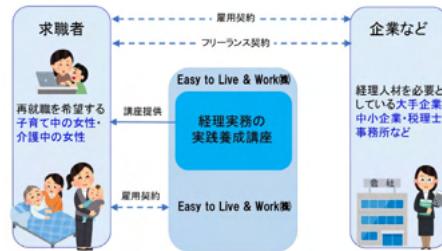


## 子育てや介護をする女性が自由な時間と場所で働ける環境づくり

女性の活躍推進が進む中、子育てや介護と両立しながら働きたいと考える方々への支援が求められています。弊社が扱う経理業務は時間や場所の融通が利きやすく、テレワークとの相性も良いため、柔軟な働き方を望む女性にとって活躍の場となり得ます。同時に、スキル人材の不足という弊社の課題にも対応できます。

そこで2026年、再就職を目指す女性を対象に「生成AIを活用した経理実務の実践養成講座（オンライン）」を開講します。教育から就職、実務サポート、起業支援まで一貫して提供し、卒業後は弊社での採用に加え、フリーランスや他社への就職といった多様な進路を支援。経営理念の1つである

「働く機会をつくる会社」を目指して地域社会に貢献していきます。



▲弊社の女性活躍支援事業

## 社内で、「もっと生きやすい、もっと働きやすい」の取組

Easy to Live & Work株式会社という社名には、「もっと生きやすい、もっと働きやすい世の中にする」という私たちのミッションが刻まれています。このミッションを達成するため、弊社ではワークライフバランスを意識した環境整備に力を入れています。現在、クラウド会計やIT・AIの活用による業務効率化、クラウドストレージやセキュリティ対策により、約8割の業務をリモートで出来る環境を構築し、DX認証制度への申請を進めています。

また、弊社の事業であるチームビルディングを社内で実践

し、従業員の持つ能力を最大限に引き出し、主体性の尊重や小さな達成感の蓄積、信頼関係の構築など、生きやすさと働きやすさを追究していく、従業員から「良い会社だな」と感じてもらえることを目指していきます。



## 未来に向けて

ミッションと経営理念、そして「六方良し」の思いから、社会課題解決や中小企業の課題解決に向けて、従業員と一緒に毎年新規事業を作り続けていきます。

2026年：「生成AIを活用した経理実務の実践養成講座」の開講  
 2027年：「社会課題解決・中小企業の課題解決をするカフェ」の開店

また、5年以内に「システム開発」、10年以内に「ものづくり」に挑戦、将来的に弊社の管理職及び役員のうち女性の比率を半分以上で構成していきたいと考えています。

## 親子支援

父親の育児などの悩みを共感・共有する場として、「お父さんの会」というコミュニティを作りました。今後は、従業員も含めたお母さんのコミュニティも形成し、親子のイベントやセミナー等も開催していきたいと考えています。将来には、親と子をそれぞれ支援するシステムを開発し、コミュニティの輪を広げます。



## 事業内容

戦時下1942年結成の創立80周年を超える老舗劇団です。田端文士村と呼ばれた、北区田端にアトリエを構え、演劇興行と俳優のマネジメントを行っています。

■ 住所：北区田端3-22-12  
 ■ TEL：03-3828-2216  
 ■ FAX：03-3828-2260  
 ■ URL：<http://www.bunkaza.com/>



## 戦争を知る劇団 文化座が届ける、平和への願い

私たち劇団文化座は、創立以来、「戦争を知る劇団」として、戦争や平和をテーマにした数多くの舞台作品を世に送り出してきました。「戦争は過去の出来事」と思われる方も多いかもしれません。

しかし、世界のどこかでは今この瞬間も争いが続き、多くの人々が命や生活、そして大切な人を失いながら、平和を求めて生きてています。こうした現実を、決して“他人事”にせず、「自分だったらどう感じるだろう？」と想像し、一人ひとりが平和の意味を考えること。それは、より良い未来をつくるための、最初の一歩です。

戦争を描いた作品には、時代を生きた人々の声や記憶が息づき、観る人の心にそっと語りかけ、問いかけます。私たち文化座は、未来の平和に向けて平和のバトンを渡していく舞台を創り続けていきます。



▲舞台「ビルマの豊饒」

## いじめを見つめ直す 演劇からはじまるSDGsの実践

2025年4月、田端のアトリエにて、「いじめ」をテーマとした演劇公演を開催しました。この公演は、地域から始める大切な一歩です。いじめは、学校の中だけで起こる問題ではありません。地域や社会の中にも、表面化しにくい「見えない暴力」が存在しています。子ども同士の関係に限らず、大人の世界にも、言葉や態度による排除や差別が潜んでいます。

暴力や差別のない、誰もが安心して暮らせる社会の実現に向けては、私たちの地域、そして日々の生活の中で取り組んでいくものです。私たちは、演劇を通じて、「いじめ」や「人との関わり」について考えるきっかけを届けることで、地域の絆や相互理解を育み、いじめのない未来へとつながっていくことを願っています。

10月公演『螢の光、窓のイージス(仮題)』に先がけ、畠澤聖悟の最高傑作『親の顔が見たい』緊急上演決定！

**親の顔が見たい**

STORY  
都内カトリック系私立女子中学校会議室。そこに、集まる数人の保護者たち。彼らは、いじめ自殺死した子供の遺書に書かれていた、いじめ加害者の親たちである。それぞれ、年齢も、生活環境も、職業も違う親たちは、身勝手な事情から我が子を庇護する事に終始する。怒号飛び交う会議室。子供達のいじめを通して、それぞれの親たちの「顔」が浮き彫りになる……。

作・畠澤聖悟 演出・西川信廣  
有賀ひろみ 阿部 勉 津田二朗 高村尚枝 長東直子 堀地実加 高橋未央  
(STAFF)  
美術：奥澤雅寛 照明：加藤俊彦 音楽：上田亨 音響：齋藤美佐男 演出助手：米山実 舞台監督：鳴海宏明 制作：小林悠記子  
井田雄大 兼元菜見子 萩原佳央里 田中孝征 市川千鶴 阿部由美

▲舞台「親の顔が見たい」

## 心をつなぐ舞台 やさしさを届ける演劇のちから

私たち劇団は、演劇を通して「人情」や「愛」、「平和」の大切さを伝える舞台作品を数多く上演しています。国連が掲げるSDGsの目標16「平和と公正をすべての人に」は、演劇とも深くつながっています。演劇は、単に「観るもの」ではなく、心で感じ、想像し、対話を生み出す力を持つ表現です。私たちは、「知る」「感じる」「伝える」を大切に、観る人の心に静かに語りかけ、小さな気づきを得るきっかけを届けます。その気づきが、人との関わり方や地域とのつながりを、少しずつ温かく変えていく力になると信じています。

人ととの関係が希薄になりがちな今だからこそ、心を通わせる舞台の力が必要です。私たちが届ける物語が、地域に温もりをもたらし、未来をやさしく照らす一歩になることを願っています。



▲舞台「母」

## 事業内容

オリジナル自転車の企画・製造・販売を行っている創業75年の企業です。全国の量販店・専門店に自転車を年間で約15万台販売しております。

■ 住所：北区昭和町2-14-10  
 ■ TEL：03-3800-0430  
 ■ FAX：03-3800-0419  
 ■ URL：<http://tamakoshi.biz/>



1950年創業 SG登録工場

## 自転車の製造台数を増やして脱炭素を目指す！

茨城県にある弊社工場では、自転車を月間に約1500台製造しております。ベルトコンベアで流れてくる製品に手作業で数多くの部品を一つひとつ取り付けています。新たな機器やシステムなどのデジタル化により生産工程を簡単にし、生産性を上げ、製造台数を2000台以上に増やすことを目指しております。製造台数が増えることにより1台に掛かる電気や燃料が減り、その結果脱炭素につながります。「製造台数2000台以上」までの道のりは長いですが、新しい機器やシステム等のデジタル導入に力を入れ、目標達成を目指します。



▲製造工場

## 地域との関わりを増やせる企業に！

SDGsアウトレット自転車の販売会を昭和町本社にて行いました。製造過程や納品過程などで小さな傷が発生してしまった商品（乗車には支障がなく、何回か乗車すればできてしまう程度の傷です。）を、地域の方を中心にお求めやすいように安価で販売いたしました。アウトレット自転車の販売は、機能には問題のないパーツの破棄を減らすことにつながります。このようなSDGsを打ち出したイベントの開催は、地域の人と直接関わることができる機会となりました。2日間で約150台の自転車を販売し、地域の方々の笑顔を見ることができ、普段は直接お客様と関わらない従業員の笑顔も見られ、地域に根差す企業として充実したイベントとなりました。

また、弊社では地域との接点として中学生の職場体験も受け入れております。自転車のパンク修理体験や接客体験といった初めての体験をアシストし、地域とのふれあいの機会を提供しております。今までできなかったことが出来るように

なったり、お客様と話したりすることにより、自転車販売の職業を理解していただく機会になっています。

これらの地域との接点を増やす取組を毎年計画的に進めていけたらと思っております。



▲アウトレット自転車



▲中学生の職場体験

## 玉越工業（たまこしこうぎょう）ってどんな企業？

弊社、株式会社玉越工業は1950年創業で東京都北区に本社を構える総合自転車メーカーです。創業当時は昭和町の小さな工場から始まりました。当時の従業員は、三輪車フレームを製造し問屋に納入する仕事を、朝から晩まで地道に続けていました。そこから少しづつ事業を拡大し、幼児用自転車の製造・販売店との直接取引・大人用自転車の製造・海外での生産委託などを行う企業に成長してきました。現在では幼児用自転車から大人用自転車まで、幅広く自社ブランドの自転車を企画・製造・販売しており、販売店と協力してオリジナル商品の開発も行っています。年間で自転車を約15万台販売し、工場での在庫は1万台近く保有しており、在庫量としては圧巻です。最近では、渋沢栄一翁モデルの自転車等、他に

はない唯一の商品を多数展開しており、キャンペーンや企業向けでのオリジナル自転車の製造も承っております。茨城県には製造工場もあり、安全・安心な自転車作りに力を入れ、ユーザーが快適で楽しいサイクルライフを送れるよう日々努力しています。さらには、北区内での取組にも多数参加しており、「北区きらりと光るものづくり顕彰」の受賞や、「北区ワークライフ・バランス推進企業」にも認定されております。今後も、ますます発展できるよう努力していきます。



▲当社の製品

## 事業内容

宮内庁御用達の東京23区最後に残る乾麺工場です。昭和10年の創業以来、地域に根差した製麺工場として多様な麺づくりを行っております。

■ 住所：北区豊島7-5-12

■ TEL：03-3913-5705

■ FAX：03-3919-8531

■ URL：<https://edo-tamagaway.jp>



## 子どもたちの「もったいない」から生まれた食品リサイクル活動

乾麺製造時に必ず出る曲がった麺、通称「クズ麺」。通常は産業廃棄物として廃棄しますが、神奈川県厚木市の株式会社うすいファームとの取組で、食品リサイクルにチャレンジしています。スキームは、「クズ麺」を養豚場の餌にしてもらうことで、食品ロスを軽減していきます。「クズ麺」が栄養価の高い餌として再利用されることで、ブランド豚の育成に貢献するだけでなく、このブランド豚を使った焼うどんを、当社が主催する店頭イベントで販売するという好循環を生んでいます。



◀食品リサイクル活動

## 乾麺の【ふし】を活用した3Rを実施

皆さま、「ふし麺」をご存じでしょうか。乾麺の製造では、生地を伸ばして直線部分を切り落とします。この切り落とされた直線部分が、うどんやそうめんのような商品として販売されます。この際、麺の直線部分ではない、残った部分を「ふし麺」と呼びます。「ふし麺」はうどんやそうめんとして提供することはできませんが、生地を伸ばす時に最も力の加わる部分であるため、強いコシと弾力があり、実は知る人ぞ知るとてもおいしい部分です。この「ふし麺」を北区の小・中学校へ提供し、「ふし汁」という献立にしていただきました。将来的には、北区教育委員会と連携し、北区内20校の小・中学校の給食麺としての提供を目指します。



また、乾麺製造時に必ず出る(「U字のめん」)を、学校の授業でもお話し頂き、その(「U字のめん」)を使用した(「ふし汁」)を給食として提供で もらう事で、食品リサイクルとして学校にもご協力を頂いています。

▲北区内の小・中学校に提供する「ふし汁」

## 技術製麺を通して子どもたちの食育支援に取り組む

当社は北区の教科書に「めんをつくる工場」として載っており、食育活動の一環として北区の小学校の工場見学を受け入れています。子どもたちは、普段なじみのない小麦粉の香りや、乾麺製造ラインに吊るされた自分の背丈と同じ位の長さの麺に大興奮しています。また、調整が難しい学校については、オンライン工場見学を実施し、さらに中学生向けには職業体験の受入れを実施しています。



▲小学生の工場見学



▲中学生の職業体験

## 事業内容

合紙・抜き加工・色紙加工製造等の印刷物加工業を営んでいます。スピード・品質・エコロジーを軸に、より良いサービスを日々提供・追求しています。

■ 住所：北区中里1-21-2  
 ■ TEL：048-227-3012  
 ■ FAX：048-227-3013  
 ■ URL：<https://www.egawa-shiko.co.jp>



## すべての社員が尊重される会社づくり

人権尊重を基本とした経営を実践しています。具体的には、次のような取組を行っています。

- ①人権方針に外国籍社員への配慮を掲げ、自社で活躍できるよう、交通規範や日本語の学習機会を提供する。
- ②人権方針の中で、児童労働・強制労働・雇用及び職業における差別などの課題解決への貢献を示し、FSC認証の要求を満たす水準で取組を継続する。
- ③経営者と従業員が交渉において対等な関係であることを会社の人権方針として掲げ、努める。

今後も、自社に関連する人権課題に適切に対応し、より良い経営体制を築いていきます。



▲未永くお付き合いしていただけますよう  
社員一同頑張ってまいります

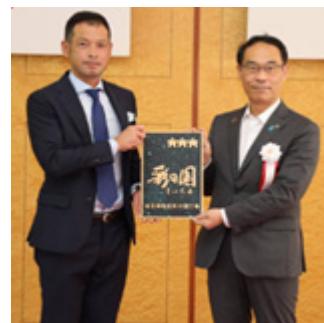
## 次世代を考えたエコロジーな製造会社

私たちは「次世代の合紙」をテーマに、常に環境対策を考え、環境配慮経営を推進しています。具体的には、以下の取組を実施しています。

- ①廃棄段ボール、CP（チップボール・紙器用板紙）、スチレン（発泡スチレン素板）の抜き加工後のくず回収における分別管理と、業者引き取りにおける白紙・ワンプ（梱包紙）・PP加工紙（フィルムコート紙）・黒紙などの分別管理を実施しています。
- ②3Rの推進として、資材の利用においては、リサイクルされたダンボール・CP・スチレンを購入しています。エコ商品は、一般品と比較してコスト・価格ともに変わりません。また廃棄くずは、古紙回収業者が引き取り、ダンボールメーカーが買い取るので、資源循環の中で事業活動を行える環境を整えています。
- ③環境学習を実施しています。
- ④「エコマーク加工の工場」の認定を取得し、合紙後のPOPにエコマークを入れています。これにより、企業の環境への取組をアピールしています。
- ⑤会社近辺の清掃活動を毎週実施しています。
- ⑥すべての工場でLED照明を導入しています。
- ⑦当社はFSC認証を取得しており、責任ある木材資源を使用したディスプレイを制作しています。これにより、FSC製品の販売を通じて森林環境の保全に貢献しています。

これらの取組に加えて、私たちは「彩の国工場」に指定されています。これは、地域に愛される工場づくりを進めるため、周囲の環境に配慮し、ものづくりへの親しみや理解、興味を喚起し、地域交流の場を提供するなどの社会貢献に努める工場を埼玉県知事が指定するものです。環境保全や地域貢献に関する条件を満たすことで指定されます。

このような取組は、環境への貢献度を向上させ、地域との信頼関係を構築し、私たちの社会的価値を高めています。



▲大野県知事と「彩の国工場」指定式にて



# 有限会社給食普及会

## 事業内容

学校給食用食材を専門に取り扱う販売会社です。学校給食に対して『安全・安心・高品質』をテーマに50年以上にわたって事業活動をしております。

- 住所：北区田端5-14-5
- TEL：03-3823-2251
- FAX：03-3823-2253



## 学校給食だからできる食育の取組

子どもたちの笑顔を育む食育を提案しています。一言で食育といっても食材を通じて行う場合、テーマを決めて行います。



▲天然と養殖の鯛の違いを体験



▲練馬大根



▲滝野川ごぼう

テーマは、フェアトレード・地産地消・環境・食品ロス・出前授業等です。当社では、学校の栄養教諭・単元の教諭・栄養士・調理師の方々に各種提案を行います。使用する食材や献立に合うように、教材の無償提供又は、出前授業を実施しています。東京の伝統野菜である練馬大根・滝野川ごぼう・大蔵大根などの野菜の栽培も、農家さんと契約しています。子どもたちが見て、触って、食べて食材の基本を学んでいます。食育推進と栄養バランスの取れた学校給食実現の一翼を担い、子どもたちの笑顔を育んでいます。



◀社員による伝導師出前授業

## 給食普及会のSDGsいろいろ

給食普及会のSDGsの取組は、地球環境・社会・人（従業員）・会社・経済（流通）の5部門で構成されています。取組は、以下の他にも多岐にわたり推進しております。

食品ロスの削減・社内電灯のLED化・出前授業実施・再生可能電力の導入・フェアトレード商品・フードマイレージ削減・地域社会交流・伝統野菜の契約栽培・地産地消・各種資格の取得・HACCPに準ずる衛生管理・郷土料理食材紹介・サステナビリティ商品紹介・特別栽培野菜紹介・リスクマネー

ジメント・社内コンプライアンス・労務管理・食育教材の無償提供・国産国消など

今もこれからも、給食普及会は未来の子どもたちに素晴らしい社会環境と美しい自然を残すため、継続して商品開拓と営業活動を実施してまいります。



▲フェアトレード商品



▲東北の郷土食材



▲社内LED



▲TOKYO\_X販売店認定証



▲各種資格取得

## 事業内容

家庭用・業務用「粉末清涼飲料・液体調味料・粉末調味料・粉末食品・調味料油脂」の製造。  
1952年創業『老舗の味』を世界各国でお楽し  
みいただいております。

■ 住所：北区東田端1-6-2  
■ TEL：03-3894-4161  
■ FAX：03-3810-0717  
■ URL：<https://www.amibrand.co.jp/>



▲2023年つくば工場に設置した太陽光パネル

## 環境へのやさしさ

日本のエネルギー源の多くは海外から輸入される化石燃料であり、国や電力会社は、2050年のカーボンニュートラルの実現に向けて、再生可能エネルギーの普及を進めています。この流れを受けて、エネルギーを使用する側である私たちも再生可能エネルギーを利用していかることが重要であると考え、2023年にはつくば工場に太陽光パネルを設置しました。

つくば工場では、休日分の電力使用量を太陽光パネルで賄っています。

また、弊社はISOの食品安全マネジメントシステムに関する国際規格であるFSSC22000の認証を取得するなど、環境にやさしい企業としての取組を進めています。今後も、世界に向けて発信できる企業活動を実施していきます。

## 未来に向けて

「ずっと働きたい会社へ」をスローガンとして、人財に関しては子育てを行う従業員等の職場生活と家庭生活との両立を支援するための雇用環境整備、働きやすい職場環境づくりを行っております。

- 新入社員の採用を目標に、積極的に採用活動を実施しています。
- 工場運営を安定的に継続させるため、環境整備や設備保全を実施しております。



## 当社の技術力

ロングセラー商品を中心とした家庭用製品、液体製品、小袋製品などお取引先さまに合わせてスピーディに企画・開発できることが弊社の強みです。また、小売業を中心にOEM製品の製造もしており、様々な食のシーンでご愛顧いただいております。

輸出製品では、植物由来の原材料を使用し、畜産物や水産物に似せて作られる「プラントベース」製品にも力を入れ、海外需要に応えていきます。



▲ロングセラー商品「炒飯の素」

## 企業理念・経営方針・サステイナビリティ指針

- 安心、安全な高品質の商品、サービス提供  
私たちは安心・安全な商品を開発するため、妥協はいたしません。
- 私たちは常にお客様の立場に立って、真摯に耳を傾け、ご満足いただける商品・サービスを提供し続けます。
- 公正な購買取引  
私たち「あみ印食品工業株式会社」の一員として、世界各国のコンプライアンスに従い、公正な立場にて決定します。
- 私たちは、取引様は良きパートナーであると考え、選定においては価格・品質・サービスを比較検討し決定します。
- 社会への貢献  
私たちは環境に対するグローバルな枠組みの中で、環境法令の責任者を定め、法改正などに速やかに対応できるよう努力します。
- 私たちは資源の有効利用や、環境改善に役立つ新しい技術の開発に努力し、社員の教育と啓発に努めます。

- 社員個人と職場環境  
私たちは家族を含め、一人ひとりの安全の確保に万全を期し、健康に働くことのできる環境を整備します。
- 私たちは一人ひとりが、あみ印食品工業株式会社で働くことに「幸せ」と感じる職場環境を作るための一切の努力を怠りません。



## 事業内容

北区を中心に賃貸・売買仲介、不動産管理、建築・相続支援を行っています。

- 住所：北区赤羽南1-3-1 高橋ビル6階
- TEL：03-5249-3015
- FAX：03-5249-3016
- URL：<https://sumaie.info/>



## スポーツ支援と女性活躍で地域に貢献

株式会社スマイエは、北区に本社を構える地域密着型の不動産会社です。2023年より、北区をホームとする女子サッカーチーム「日テレ・東京ヴェルディベレーザ」のスポンサーとして、スポーツによる地域活性化に貢献しています。

この活動は、東京都北区とベレーザが締結した「スポーツの推進及び連携に関する協定」に基づくものであり、青少年の育成やスポーツ機会の充実にも寄与しています。



また、スマイエ社内でも女性活躍推進をテーマに掲げ、女性管理職比率50%を目指して研修体制の強化などを進めています。地域で活躍する女性アスリートの姿が、社内にも良い影響を与えています。



◀日テレ・東京ヴェルディベレーザのスポンサーとして地域貢献に取り組んでいます

## DX導入で業務を効率化し働き方改革

Google Apps ScriptやAIツールを活用し、営業報告の整理、進捗管理、請求書作成などの業務を自動化しています。これにより、事務作業の効率化と従業員の時間的余裕を実現し、「働きがい」と「顧客対応の質」の両立を図っています。

今後もデジタルを活用しながら、より柔軟な働き方ができ

る環境整備に取り組んでまいります。



DX導入で業務を効率化し働き方改革▶

## 学生インターンで地域と未来に貢献

地域の未来を支える人材育成の一環として、北区内の高校・専門学校と連携した職場体験・インターンを受け入れています。不動産業に関心を持ってもらうだけでなく、地域に関わる仕事の意義を知ってもらうことを目指しています。地域と若者の架け橋として今後も継続予定です。



学生インターンで地域と未来に貢献▶

## 地域と共に信頼を築く企業姿勢

スマイエは、不動産取引を通じて地域の信頼を積み重ねることを何より大切にしています。北区で創業して以来、地域のオーナーさまやお客様との関係性を築きながら、丁寧な対応と迅速なサービス提供を心掛けてきました。

最近では口コミや紹介による来店も増え、「スマイエに頼めば安心」という声をいただくことが励みとなっています。今後も地域に根ざした企業として、暮らしに寄り添い、長く選ばれ続ける存在を目指してまいります。



地元の祭りではお神輿を担ぎます▶

# 王子ゴム株式会社

## 事業内容

ワーキンググローブ・ワーキングシューズを中心とした作業用品の専門商社です。働く人の労働環境の改善に役立つ商品を提供しています。

■ 住所：北区豊島7-7-17  
 ■ TEL：03-3911-3766  
 ■ FAX：03-3912-4737  
 ■ URL：<http://www.ojigomu.jp>



## すべての人・企業・社会の発展に貢献

ワーキンググローブのメーカーとして1933年に創業した弊社。当初は製造・販売を行っていましたが、近年では商事部門の委託を進め、工場を持たない「ファブレス化」を果たすなど、商社としての機能を強化しています。弊社の商品を使用されるお客様の安全・安心はもとより、環境へも配慮しながら、仕事の快適性の向上に努めてまいります。自社オリジナル商品の他、ミズノの販売代理店としてミズノのワーキングシューズ販売も手掛けています。

弊社が取り扱うアシックスワーキングシューズを導入いただいたお客様の声をご紹介します。

- ・「今回社内でアシックスのワーキングシューズ採用が実現しました。以前の作業靴は、水やオイルで滑りやすく、通

気性が悪くてムレやすい、すぐに摩耗するなど、多くの不満が出ていましたが、アシックスワーキングシューズにしてからはそのような声もなくなりました。」

- ・「夕方になると、皆疲れ切っていたのが、疲労感がとても軽減されました。」
- ・「仕事に対するモチベーションも上がり、新卒採用のプレゼンにも使わせてもらい好評です。」

今後も、現場で働く人を応援する企業として社会に貢献します。



▲現場の人を応援するワーキングシューズ

## 社員を大切にする経営

弊社は、社員にやりがいを感じてもらい、よい仕事をしようというポジティブな雰囲気を広げるため、職場環境の整理整頓に取り組んでいます。この取組を通じて、社員の満足度や業績の向上、組織内でのイノベーション促進につなげ、これから外部環境の変化に柔軟に対応していくたいと考えています。具体的な取組の一例としては、以下のようなものがあります。

### 1. 学びの機会の提供

希望する全社員が学びの機会を享受できるよう、外部機関による研修を受講できる体制を構築しています。

### 2. ワークライフバランスの向上

仕事とプライベートの充実が図られるよう、時代に合わせて就業規則や評価制度を見直し、残業時間の短縮や有給休暇の取得率向上に向けた取組を推進しています。また、経済産業省の健康経営優良企業法人の認定取得に向けた準備を進めています。

### 3. 働きやすい環境整備

社員を大切にする経営を実現するため、働きやすさにつながる取組は多岐にわたります。例えば社内に情報の偏りが発生しないよう、方針や社内ルール、経営計画書を全従業員に配布しています。また、公平で平等な組織にするため、多様性を受け入れる研修も実施しています。

## 渋沢栄一「100の訓言」から学ぶ

1週間に1回、渋沢栄一「100の訓言」（著者：渋澤 健）の本を用いて、読書会を開いています。1から100までの訓言を毎週1項目ごと読み、全社員が感想を社内に発信しています。他の社員の感想を読むことは、新たな気づきや思考を深める大変有意義な時間です。

この取組は、社員の仕事を通して学ぶ姿勢や、生き方、思想に生かされてきていると感じています。

今後も継続することで、社員が毎日をワクワク過ごすことができるよう変化が生まれることを目指しています。



社員から寄せられた感想▶

## 地域貢献を目的とした近隣の清掃活動

7月10日、猛暑の中、事業年度計画に基づく清掃活動を実施しました。会社周辺の道路を2班に分かれ、歩道や排水溝に捨てられたゴミを拾いました。ペットボトルや空き缶、たばこの吸い殻など、45リットル袋の半分ほどのゴミが集ま

り、地域の環境美化の必要性を改めて感じました。今後は、活動範囲の拡大も検討し、誰もが気持ちよく過ごせる、きれいな町づくりを目指していきたいと思います。

## 事業内容

私たちは理容室・美容室・訪問理美容を経営しています。性別・年齢に関わらず、多種多様なお客さまに喜んでいただけるよう、日々努力しております。

- 住所：北区王子1-14-2 BBSビル
- TEL：03-6903-3037
- FAX：03-3914-2948
- URL：<http://www.bbs-co.com>



## カラーチューブのリサイクル事業に参加しています

私たち有限会社ビービーエスズスキは、持続可能な発展のために様々な取組を行っております。私たちの取組の一つに、ヘアカラーチューブのリサイクルがあります。理美容室でカラーの施術をした際に排出される使用済みヘアカラーチューブの量は非常に多く、適切にリサイクルされないと大量の廃棄物を出すことになります。ヘアカラーチューブはアル

ミ製であり、リサイクルに適しています。当社は、これをきれいに洗浄し、キャップ部分を取り外してリサイクル業者に送っています。これにより、普段は廃棄物として捨てられてしまうカラーチューブがアルミ資源としてリサイクルされ、環境保全に貢献することができます。

## 訪問理美容を通じて、社会貢献をしています

私たちの提供するサービスの1つとして訪問理美容があります。これは、何らかの理由で理美容室にご来店できないお客さまのもとへ我々が出張し、施術をするというものです。高齢化が進む社会において、「おしゃれして美しくなる」ことの喜びを実感していただくお手伝いをする訪問理美容は、ますます必要性が高まっていると考えております。

訪問理美容に対する会社の思いやその技術をスタッフに承継し、地域へのサービスを周知することで、この活動を次世代へつなぎ、当社が地域の笑顔のために在り続けられるように努力しております。

訪問理美容の様子▶

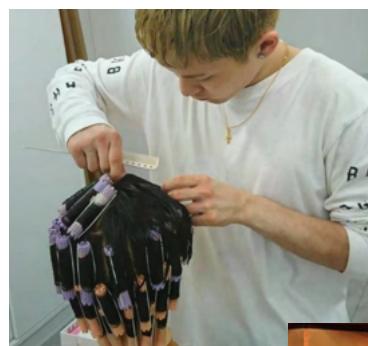


## サポート制度を設けて会社を前進させていきます

現代は人生100年時代です。長く変化の激しい人生の中で活躍し続けるために、当社は生涯学習を掲げ、従業員に対し様々な学習の機会を設けております。この学習は、理美容師としての技術習得だけではありません。ビジネス・マネジメント・接客・育成におけるスキルも身に付けられるプログラムであり、理美容師としても人間としても成長できます。

具体的には、外部業者の講座を活用し、キャリア別にオンラインまたは対面で受講します。そして受講後に学んだことを行動に移し実践していくために、上長及び担当外部業者のサポートを受けます。その内容をレポートにまとめ、講座最後でどのような変化が現れたかを従業員同士で共有します。このような仕組みを今後より洗練させ、当社独自の教育プログラムとして構築します。

これにより、従業員一人ひとりがより頼もしい存在となり、会社として前進し続けられると考えております。



◀従業員の生涯学習



北区長とSDGs推進企業認証式にて▶

# 税理士法人ガイア

## 事業内容

税理士法人ガイアは北区西ヶ原に事務所を構える会計事務所です。会社設立・相続税はもちろんのこと、法人個人問わず税務関係を扱っております。

- 住所：北区西ヶ原3-48-4 野口ビル3F
- TEL：03-3940-0831
- FAX：03-3940-0832
- URL：<https://gaia-tax.com>



## お弁当持参キャンペーン、大成功！

ゴミ削減の取組として、ゴミ処理券購入費前年比10%削減を目標として取り組んでいます。第一弾として、コンビニ弁当の容器がゴミの大半を占めていたことに着目し、「お弁当持参キャンペーン」を社内で実施することにしました。社員一人ひとりの協力により、前年比22%（約40,000円）の削減を達成することができました。社員がお弁当の写真を共有し、互いのお弁当について語り合うなど、活発な交流が生まれました。さらに、1ヶ月で最も多くお弁当を持参した社員を表彰しました。この取組を通して、ゴミ削減意識の向上だ

けでなく、社員間のコミュニケーションも深まりました。今後も、環境への配慮と社員の親睦を深める活動を続けてまいります。



▲SDGsお弁当キャンペーン

## 街をきれいに！清掃活動、パワーアップ！

北区の環境を守るため、事務所周辺のゴミ拾いを行っています。2025年からは、活動頻度を月1回から2回に増やし、より積極的に取り組んでいます。おかげさまで、事務所前の道路は以前よりも綺麗になりました。地域の方々から「ありがとう」と声をかけていただくこともあります。大変励みになります。近隣の公園では、空き缶やタバコのポイ捨てが見つかる

こともあります、誰がゴミを一番集められるか競いながら、楽しく取り組んでいます。



◀清掃活動

## 税のかかりつけ医を目指して

私たち税理士法人ガイアは上記の事業内容でも記載させていただいたとおり、会社設立・相続税はもちろんのこと、法人個人問わず税務関係を扱っております。

そもそも会計事務所に対して、「敷居が高い」・「お堅い職業」というイメージを持たれている方が少なくはないと思います。しかし、私たちは顧問の方だけでなく、新規のお客

さまの様々な相談にも応じることができます、かかりつけ医のような会計事務所を目指しています。税務のことだけではなく、グループ会社に行政書士法人や記帳代行等の会社もありますので、幅広い事柄を何でも相談・解決できるワンストップサービスを行っています。税金に関わることは、小さなことでも相談していただければと思います。

## 多様な人々が働く職場

私たち税理士法人ガイアは、他の会計事務所に比べて外国人従業員の比率が高くなっています。弊社では、彼らに対しレッテルを貼ることなく、どの国籍の従業員も皆同じように働いています。もちろん日常では日本語を話してくれますが、海外のお客さまとの電話やメールでの対応はとても心強です。しかし、生まれ育った場所が違うと考え方や価値観が違ったりしてしばしば衝突したりしますが、そういうことが起きることも多様性の一種だと思います。お互いを尊重してお互いが仕事をしやすい環境を作り上げていきたいと思います。



▲集合写真

## 事業内容

電力工事という公共性の高い事業を行っています。変電所・発電所の建設を長年続け、そこで培った技術を様々なフィールドへ活用しています。

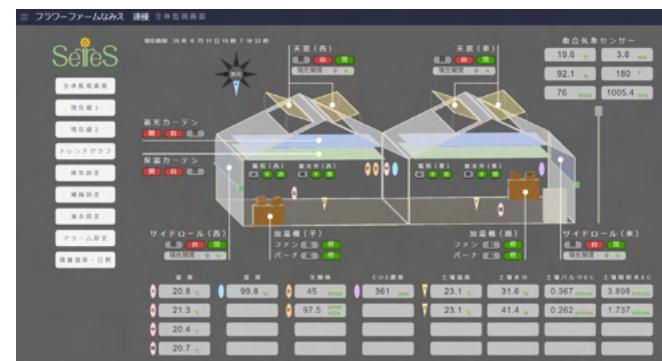
■ 住所：北区岸町1-8-17  
 ■ TEL：03-5993-3111  
 ■ FAX：03-5993-3231  
 ■ URL：<http://koei-densetsu.co.jp>



## カーボンニュートラルで持続可能な社会と未来創造（まちづくり）

当社の拠点がある福島でも東日本大震災からまだ多くの人が街に戻れないでいますが、当社は再生可能エネルギーである野馬追風力発電所の建設に携わっており、その電気を農業用ハウスに送るという計画で、街の活性化に協力しています。

また、2019年の台風19号で荒川氾濫の可能性がありました。万が一の災害に備え、災害時でも電気が使える仕組みを構築しています。このように、SDGsのゴール「7: エネルギーをみんなにそしてクリーンに」、「11: 住み続けられるまちづくりを」につなげていくことができ、電力・カーボンニュートラルを通して持続可能な社会づくりに貢献、様々な地域の未来創造（まちづくり）の実現を目指しています。



▲再生可能エネルギーによる環境モニタリング装置で花卉栽培を展開（フラワーハウスなみえ）

## 太陽光パネル+蓄電池で地産地活+セーフティタウン実現へ

当社が取り組んでいるセーフティタウン構想は、災害時でも電気が使える仕組みを構築し、平時には地産地活の源泉として地域のまちづくりに価値を提供し、持続可能な社会づくりに貢献を果たすものだと思います。2023年にはその一環として、本社に太陽光パネルと蓄電池を設置しました。現在は、埼玉事業所にセーフティタウン構想の実験用太陽光パネルを設置中で、当社のビジョンである未来創造（まちづくり）の契機としています。

※地産地活とは  
地域内で生産できるエネルギーで地域産業を振興し、地域社会に活力を創出する取組



▲本社屋上



埼玉事業所▶

## 会社のメンバーすべてが活躍できるワークライフバランスを目指して

これまで当社は、建設業という業界の特性から男性が多く、現場での職務を中心とする企業でした。そのため、次のような取組を実施し、社員一人一人が活躍しやすい環境を整えております。

- ①女性技術者の採用
- ②事務担当の女性全員が参加し、自律した活動を行う女性活躍プロジェクト
- ③主に中高齢を想定した三大疾病等のための通院治療有給休暇の他、災害休暇、ボランティア休暇等の特別休暇の付与
- ④低価格で住める社員寮の提供
- ⑤資格取得支援制度（受験費用の負担や祝い金）

これらの取組により当社は、2020年の北区のワークライフバランス推進企業認定、2022年の東京都ライフワークバランス推進企業認定、健康経営優良法人2024（中小規模法人部門）として認定され、また、特別休暇については好事例として2023年版厚生労働省の働き方・休み方改善ポータルサイトに掲載されました。

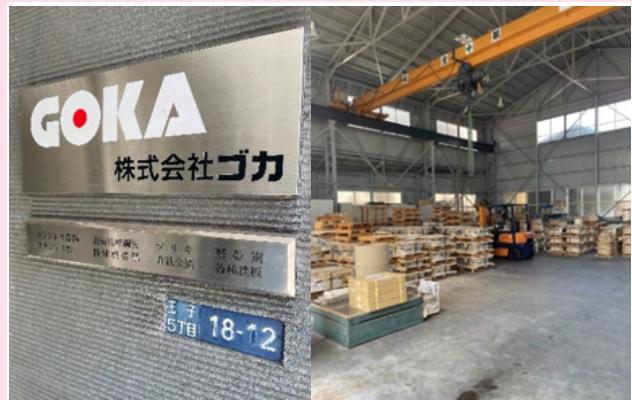
<https://work-holiday.mhlw.go.jp/kyuukaseido/search.php>

# 株式会社ゴカ

## 事業内容

100年以上続く鉄鋼商社です。注射針等の医療機器を中心に、自動車部品・建築部材・文具関連などに使用する材料を取り扱い、人々の生活インフラを支えています。

- 住所：北区王子5-18-12
- TEL：03-3913-4441
- FAX：03-3912-7330
- URL：<https://www.goka.jp/>



## まずは小さく始めます

弊社は、SDGsを推進するにあたり地域・環境・従業員などのすべてのステークホルダーにとって最良な形を模索しながら、できることから実行しています。現在、認証企業として次のような取組を進めています。

1つ目は、採用における「ダイバーシティ経営」の導入です。性別・年齢・国籍等に関係なく適正や能力で評価し、着実に成果が出ています。

## 継続することの難しさ

弊社は海外の得意先も多いため、とりわけ欧州の企業から多岐に渡る詳細なESGの取組についての回答を求められることがあります。そしてその度に、難しさや煩雑さを感じることは正直少なくありません。会社経営と同様、SDGsの取組もいかに継続するか、ということが最重要課題だと考えています。最初から意気込みすぎても続かないで、焦らずに、少しずつ着実に継続することを目指して活動を続けていこうと思います。そのためにも北区での地道な活動がとても重要なと考えております。それが習慣化できれば、やがて大きな意味での環境活動にもつながると信じています。

また、地域貢献としては、北区のしぶさわくんFM内で

2つ目は「緊急時のルール策定」です。会社・従業員を守る上で必要不可欠であり、試行錯誤を重ねながら緊急時に備えて実践的なマニュアルを作成しています。

3つ目は「環境保全活動への参画」です。「北区環境基本計画2023」に則り、事業所内の省電力化や一部商用車のハイブリッド化・EV化を目指しています。

「みんなでサウナ」という番組を配信しています。サウナがテーマになっていますが、ワークライフバランスなど地域コミュニティの在り方など、SDGsを考える上でも重要なテーマについても有識者と話をしています。こちらもよろしければお聞きください。

健康優良企業及び  
北区SDGs認証の認定書▶



## ワーク・サウナ・バランスで持続可能な社会を目指す

2023年12月からスタートした北区の地域振興のためのPODCASTしぶさわくんFM内の番組「みんなでサウナ」。弊社では健康優良企業の認定を受けていることもあり、個人的に仕事とサウナの関係、「ワーク・サウナ・バランス」を常に考えてきました。そんなこともあります。番組では、様々なゲストの方を招き、サウナを活用していかにサステナブルに生きていくか?を語り合いました。なかでもフィンランド在住でサウナに関する様々な著作をされている、こばやしあやなさんからは「金銭的見返りではない、そこに参加し設営や運営を手伝うことで古きサウナを保護していく」サウナ村のお話、漫画「サ道」原作者のタナカカツキさんからは「早起きをし、仕事や家のルーティン化を徹底することで、生活全体のクオリティを均一化し持続可能にする方法」を学びました。今や100社を超える参加企業を誇るサウナ部アライアンスの代表コクヨの川田直樹さんからは「違う背景の相手や会社とも、サウナをハブすればコミュニティ形成がうまくいく」というお話をいただきました。このように、話し合うテーマは本当に多岐に渡っています。我々自身がいかに働き、いか

に休息をとり、持続可能な存在でいられるのか。そのためには、企業も旧来の価値観や慣習を見つめ直し、柔軟に変化に対応していくことが、生きやすい社会を形成していく上で重要な気がします。そのためにも、適度なサウナライフを日常に取り入れることを内外に推奨しています。これからも日々サウナに入り、思考をクリアな状態にして社会課題に思いをはせようと思います。



▲しぶさわくんFM内の番組「みんなでサウナ」

## 事業内容

首都圏を中心に「なんでも酒やカクヤス」を展開し、飲食店やご家庭へ酒類・食料品等の販売及び卸売を行うデリバリー企業です。

- 住所：北区豊島2-3-1
- TEL：03-5959-3088
- FAX：03-5390-0227
- URL：<https://www.hitomile.co.jp/>



## 揚げたら、飛ばそう！廃食用油回収で循環型社会の実現に貢献

2024年6月より、一般家庭や飲食店を対象に廃食用油の回収を開始し、2025年7月末時点で累計268トンを回収いたしました。回収した廃食用油は、通常の燃料よりも温室効果ガスを削減できるといわれている持続可能な航空燃料(SAF)等へ転用されます。

カクヤスは独自の自社配達網を構築しており、お届けだけでなく回収もできるという強みがあります。この強みを生か

して、回収方法が限られ廃棄されることの多かったご家庭の廃食用油をご注文商品のお届け時に回収しています。

地域の皆さまが気軽に資源循環に取り組めるので、多くの方にご参加いただきたいと考えております。



## 環境にやさしい配達車両でお届け！「持続可能な物流を目指して」

お届けを担う当社にとって気候変動対策は重要な課題です。自社の配達車両による温室効果ガスの排出量が多いため、排出量の算定と削減に取り組んでいます。現在、環境負荷の少ない配達車両の導入を推進しており、EV軽自動車を12台運用しています。今後はハイブリッドトラックの導入も予定しております。

また、リヤカーや自転車、電動三輪車といった環境にやさしい配達ツールを活用し、配達による環境負荷の低減を目指します。これらは運転免許が不要で誰でも配達できるツール

であるため、配達人員の多様化と確保にもつながると考えています。気候変動と人員不足の双方に対応し、持続可能な物流の実現を目指します。



環境にやさしい配達車両でお届け▲▶

## サステナビリティ・酒飲食文化研修の実施「持続可能な酒類業界を目指して」

当社では、酒類業界を取り巻く環境や飲酒文化について学ぶ「サステナビリティ・酒飲食文化研修」を2024年度より新入社員向けに実施しています。アルコールパッチテストで自身の体質も確認し、お酒の功罪を理解することで、持続可能な業界づくりへの意識を高めました。併せて、アルバイトを含む全従業員向けにe-learning形式で全3回の研修を実施しています。

今後も継続的に実施し、適正飲酒と酒文化への理解促進を図ります。



新入社員研修の様子▶

## すべての従業員が、安心して、いきいきと働ける職場へ

当社は、事業の持続的な成長を支えるため、社員一人ひとりが心身ともに健やかに働ける環境づくりを大切にしています。健康経営の推進や、オープンなコミュニケーションの促進、福利厚生制度の充実、安全運転や労働災害の防止など、社内外と連携しながら、心理的安全性の高い職場づくりに取り組んでいます。

2024年度から、健康づくりの一環として「ウォーキングイベント」を実施しています。健康管理アプリで歩数を記録し、1日平均8,000歩を目標に楽しく参加できる取組です。「歩きながら見つけた風景」をテーマにしたフォトコンテストも併せて開催し、日常の気づきや楽しさを共有しました。



◀ 健康管理アプリ  
「WellGo」

# 株式会社なとり

## 事業内容

さきいか・チーズ鱈・サラミなど、素材の風味を活かし、手軽に食べられ、楽しさを演出する「おつまみ」をお届けしています。

■ 住所：北区王子5-5-1  
 ■ TEL：03-5390-8111  
 ■ URL：<https://www.natori.co.jp>



## おつまみを通して持続可能な環境と社会の実現に貢献します

なとりグループは、「安全・安心」「環境への配慮」「社会貢献」「働きやすさ」の4つのテーマについて、世界共通の社会的課題として掲げられた持続可能な開発目標(SDGs)にも紐づく活動を推進しております。

### 【SDGsへの取組 4つのテーマ】

- ①安全・安心  
安全・安心な製品の提供
- ②環境への配慮  
食品ロスの削減・二酸化炭素総排出量の削減・持続可能な

原材料調達への切り替え  
 ③社会貢献  
食育セミナー活動・工場見学・フードバンクへの協力・寄付協賛活動  
 ④働きやすい職場づくり  
女性管理職比率の向上・男性育児休業の取得推進  
SDGsへの取組につきましては、当社ウェブサイトでもご案内しております。  
<https://www.natori.co.jp/corporate/sustainability.html>

## 太陽光発電設備の導入拡大

二酸化炭素排出量削減の取組として、太陽光発電設備を設置し、発電した電気をそれぞれの施設で使用しております。埼玉第二工場と(株)函館なとりに加え、新たにグループ会社のメイホク食品(株)に太陽光発電設備を設置しました。これにより、グループ合計で年間約690トンのCO<sub>2</sub>排出量の削減ができます。これは一般家庭が1年間に排出するCO<sub>2</sub>量に換算すると、240世帯分になります。メイホク食品(株)に設置した太陽光発電設備▶



## 食育活動の取組

地域の子どもたちを対象にした「出前授業」として「チーズ鱈セミナー」を行いました。「チーズ鱈」を通じて食の楽しさ、栄養の大切さを知ってもらうことを目的に、原料であるチーズの栄養や鱈の生態について理解を深めてもらったりながら、セミナー内では「チーズ鱈」の作り方の実演、できたての「チーズ鱈」の試食等も行いました。このような内容で「チーズ鱈」を身近に感じてもらうとともに、食の楽しさ、栄養の大切さを知ってもらう活動を展開しています。

また、埼玉第二工場では、地元の小学校などの工場見学を積極的に受け入れています。生産ラインを一望できる見学通

路の他、「チーズ鱈」の製造工程やクイズ形式で楽しみながら「チーズ鱈」の知識などを学べるコーナー、「チーズ鱈」の体験試食などもあり、子供から大人まで楽しめる空間となっています。



## しぶさわくんとのコラボ商品を発売

東京都北区に本社をおく当社と(一社)東京北区観光協会が協力し、北区の地域振興の一環としてコラボレーションを行いました。東京北区観光協会のオリジナルキャラクター「しぶさわくん」を当社商品「マイハッピーバリュー チータラ®」のパッケージに記載いたしました。

「しぶさわくん」は、渋沢栄一氏の熱意を受け継ぐキャラクターで、東京北区を盛り上げるために、東京北区渋沢栄一プロジェクト広報キャラクターとして活躍しています。渋沢

栄一氏は、100年以上前から、公共心をもった経済活動を通じて「持続可能な社会」の実現を目指していました。本取組も渋沢栄一氏のその思いを受け継ぎ、東京北区の一層の発展に貢献したいと思い、発売いたしました。

マイハッピーバリュー チータラ®  
しぶさわくんパッケージ▶



# 株式会社さくら総合福祉

## 事業内容

地域密着でご高齢者、障がいをお持ちの方の在宅における医療保険・介護保険事業及び生活のワンストップサービスを提供しています。

■ 住所：北区岸町1-6-19 青葉ビル105号室

■ TEL：03-6903-3782

■ FAX：03-6903-3794

■ URL：<https://sakura-sf.com>



## ダイバーシティ経営の取組① 高齢者スタッフの活躍

介護業界は人手不足で悩まされる事業所が多い中、弊社では年齢・性別・宗教信条を問わずに採用しており、最近では60代・70代の採用を積極的に行い、現場で大きく活躍していただいている。

採用活動としては、北区社会福祉協議会とハローワークが主催する「福祉のお仕事総合フェア」や北区介護保険課が主催する「生活援助員就職相談会」、北区立いきがい活動センター「きらりあ北」に求人票を出し、就職相談会にも参加させていただいている。これらの新たな採用活動により、2024年1月から60代・70代の正社員2名・パート4名の採用に至りました。

60代・70代の方の就労動機では、「身体の動くうちは働いてみたい」、「サラリーマンを辞めたからこれからは地域に根差した仕事がしたい」、「自分にあった、自分でもできる仕事がしたい」、など若い世代とは異なった就労動機があります。そのため、弊社ではこのようなニーズに合わせた短時間正社員・パートタイム・業務委託といった多様な雇用形態を用意しております。また、在宅勤務・直行直帰・電動自転車や服の貸与など働きやすさを整えることにも注力しています。

採用と同時に力を入れていることは、「教育」です。毎月の研修会や個別研修を通じて、技術や知識を学び、サービスの質の維持向上を図っています。スタッフ間の情報交換や懇親を深めるために実施している懇親会は、20代から70代までのスタッフが参加し毎回大いに盛り上がります。高齢のスタッフにおかれでは、蓄積された知識と経験を生かしてもらい、体力面や心配ごとなどは会社がフォローし、必要な技術や知識を身に付けてもらうことにより、活躍の場を創出したいと考えています。



▲介護部門のスタッフ

## ダイバーシティ経営の取組② 女性の働きやすい環境づくり

弊社は在宅かつ人的サービスという特性から、女性スタッフは貴重な存在です。そのため、女性が働きやすい環境を整え、就業規則などで制度を見える化しています。例えば、お子さんの急な発熱や三者面談などの学校行事に柔軟に対応するための時間単位の有給休暇制度・テレワーク・子ども家庭応援シッター券の導入など、家庭と仕事を両立できる環境を整えています。また、多様な働き方を実現するため、パート契約はもちろん短時間正社員・正社員でも時差出勤を用意し、お子さんの保育園の送り迎えに合わせた働き方も可能です。

このような制度は実際に活用されており、お子さんの成長に合わせてパート契約から正社員に契約変更したスタッフ、正社員から出産を機に短時間勤務に変更し、現在は管理者として活躍するスタッフなど、それぞれの環境に合った働き方を提供できていると感じています。最近、婚約した女性スタッフから「子どもをもうけても働き続けたい」と言ってもらっています。

弊社の女性活躍のための取組は、現在スタッフの約7割が女性、3部門のうち2部門の管理者は女性という成果につなが

っています。まだまだ子どもの面倒は母親がみるものという風潮がある点は否めませんが、弊社では、スタッフのために出来ることはすべて取り組んでいきたいと思っています。



▲子育て中の介護部門の管理者



▲ハウスクリーニングのスタッフ

## 事業内容

創業以来、北区を拠点に建物総合管理・給食受託事業などを営んでおります。総合力を生かし、お客さまが満足する安全で質の高いサービスを提供します。

■ 住所：北区王子本町1-4-13  
 ■ TEL：03-3907-4040  
 ■ FAX：03-3907-7393  
 ■ URL：<https://www.ouei.com/>



## 渋沢逸品館の運営を通して地域社会に貢献します

北区の偉人、渋沢栄一翁の理念に共鳴し、2021年、北区渋沢プロジェクトの一貫で自社開発した「渋沢百訓饅頭」を皮切りに、2023年にはゆかりの逸品を販売する「渋沢逸品館 TSUNAGU marché」を音無親水公園内にオープンしました。2024年には「お札が生まれる街、北区」のスローガンに沿って、新一万円札を模した、「おさつのお札パン」の企画開発販売を行い、その他ゆかりの地や関連企業の商品販売を通じて、渋沢翁のSDGsにもつながる教えを社会に伝えるために情報発信を行っております。また、弊社近くの自然や季節の移ろいを感じられる音無親水公園で、北区まちづくりなどの各種イベントにも積極的に参加することや、自ら北区内の方々と協業するイベント企画を行っていくことで、当店が地域に

根付き、さらなるつながりを生み出していく地域活性化のプラットフォームとなることを目標としております。



▲渋沢逸品館外観



▲渋沢逸品館店内

## 自社開発「渋沢百訓饅頭」のご紹介

「渋沢百訓饅頭」は、江戸末期に食べていた日本古来の白いんげん豆による「白あん」と、渋沢翁が渡仏中に初めて味わった西洋の「ミルク＆バター」を掛け合わせ、当時をしのばせるよう、上質な素材を使って丹念に練り上げた上品な甘さの「みるく餡」と、渋沢翁の好物「オートミール」を練り込んで焼き上げた和菓子を企画開発しました。

お味は北区のトキハソース株式会社の素材を使用した「オリジナルみるく餡」に加え、飛鳥山の桜を思わせる「さくらみるく餡」の2種類です。また、味もさることながら、学べるまんじゅうとしてもひと工夫しております。QRコードをかざすと渋沢翁の100の訓言が学べます。

お客様へのちょっとした手土産として、ご進物としてお渡しすることで、お互いのビジネスが成功に導きだせるよう

渋沢翁の理念が詰まった北区で愛されている商品となっております。



▲「渋沢百訓饅頭」

## お札が生まれる街北区で生まれた「おさつのお札パン」のご紹介

「おさつのお札パン」は、北区がお札の生まれる街としてPRされていることをきっかけに企画しました。北区の地域資源の素晴らしさをアピールし、北区民の方々だけでなく、北区を訪れた方たちにも楽しんでいただきたいと思い、製造しました。リアルなお札のサイズにこだわり、100万円札の束を再現したバターたっぷりのブリオッシュ生地に渋沢翁の新一万円札のイラストをあしらいました。また、一万円の他に、五千円、千円が描かれた種類もあり、それぞれ各偉人のゆかりの地の食材にちなんだ味付けになっております。お土産にもぴったりの商品で、地域の認知向上、地域貢献を推進してまいります。



▲「おさつのお札パン」

## 事業内容

建物の空調・給排水・衛生設備・工場の生産支援設備の施工を専門としています。改善提案・コスト削減・環境保護に貢献しお客様の信頼に応えています。

■ 住所：北区栄町1-3  
 ■ TEL：03-3913-4123  
 ■ FAX：03-3913-4126  
 ■ URL：<https://anes-corp.jp>



## 未来のためにできることを 建築設備とSDGs

当社では、空調・給排水・衛生設備などの建築設備工事を通じて、住居・商業施設・オフィスビル・工場など、幅広い施設における快適な環境づくりに取り組み、SDGs17の目標「12:つくる責任・つかう責任」を果たしています。日本では当たり前に安全に提供される水やトイレ、その当たり前を維持するための給排水・衛生設備の整備も取組の一つです。施工現場では、廃棄物の排出削減・化学物質の適正管理・環境負荷の小さい設備の提案を行うなど、建築設備会社としての責任を果たしています。

次に、当社はSDGs17の目標「11:住み続けられるまちづくりを」の実現に向け、地域社会に貢献しています。北区内の施工事例としては、学校や体育館・図書館・特別養護老人ホーム等、幅広い施設の設備工事を請け負い、快適な教育環境

の整備や住み続けられるまちづくりの一端を担っています。「都の北学園」の設備工事では、区内初の小中一貫校としての機能に加え、災害時の避難所として必要な、持続可能かつ強靭な建築設備の構築を担いました。

最後に、当社はSDGs17の目標「7:エネルギーをみんなに・そしてクリーンに」を実践し、社会に役立つ企業を目指しています。住宅でくつろぐための空調・オフィスでの働きやすい環境づくり・製造現場で必要な温度管理や無菌状態など、最適環境は建物の使用目的によって異なります。当社はこれら幅広い使用目的への対応力に加え、コストダウンをしながら地球環境に配慮した省力・省エネルギー化を実現する提案を行っています。

## 未来に向けて

当社は、社員を大切にすること、そして「企業は人なり」という理念のもと社員がいきいきと働ける環境づくりに取り組んでいます。社員が成長できる環境づくりだけではなく、労働条件や人間関係・福利厚生も含め、働きやすい社風であることを自負しています。

具体的には、健康経営・福利厚生・時間外労働削減に関する取組を行っています。健康経営・福利厚生では、健康診断受診率100%・人間ドック費用補助制度・禁煙外来費用補助などの取組が認められ、3年連続で健康経営優良法人の認定を継続しています。また社員とそのご家族のレクリエーションに対する補助なども行っています。

労働時間の面では2020年から残業時間の見える化・業務効率化・IT機器の導入・社員の意識改革など労働時間削減の取組を全社的に行い、平均残業時間の大幅な削減を実現しました。

こうした取組の結果、全社員を対象としたストレスチェックでは、職場環境や人間関係といった項目や総合数値が全国平均よりもかなり低く、社員から「ストレスの低い職場」であると評価されています。また厚生労働省が発表した全国平均の離職率15パーセントに対し、当社は3分の1以下の4パーセントと低い離職率を実現しています。

当社は、これからもSDGs17の目標「8:働きがいも・経済成長も」を実践しながら、社員の健康維持といきいきと働くことができる環境づくり、働きがいのある企業を目指していきます。



▲経済産業省の「健康経営優良法人」の認定を取得



▲社員同士が成長し合える環境



▲先輩社員によるフォローアップ

# 株式会社ぷらっとマルシェ

## 事業内容

志を持った人たちが共創する場や機会を整えて縁をつなぐ共創ファシリテーター。自然栽培オリーブオイル輸入販売・昭和レトロ民泊の運営などを手掛けています。

■ 住所：北区志茂5-16-15  
 ■ TEL：03-3903-7607  
 ■ FAX：03-3903-7647  
 ■ URL：<https://pmc.tokyo.jp/>



## 本物のオリーブオイルを求めて～オーガニックへの取組～

2006年3月。EUにてオーガニック認証されたガッティ家のオーガニックエクストラバージンオリーブオイルの輸入販売を始めました。

ローマ帝国時代の遺跡が残るガッティ家の農園のテーマは「自然との共存」。

目に見えるものだけでなく、土の中の微生物に至るまで皆、農園に生きる生命と考えます。どんな農薬も肥料すらも使わずに、受粉においても自然の風が行き、虫や鳥たちが手助けします。カラブリア州立大学との共同研究の中で、有機栽培の技術に従ってオリーブの実を考慮しながら枝を剪定。徐々に形を作り新しくしていきます。自然のままに大切に育てられたオリーブを収穫し、その日のうちに搾油。ボトリング後、冷蔵コンテナで日本に運びます。

オーガニック(ORGANIC)の語源は、オリジン(ORIGIN)と言われ「生命の」「本来の」「根源的な」と言った意味からきています。単なる「有機栽培」を表す言葉ではありません。

オーガニックに取り組むことで、食べ物や農業だけではなく、生き方、考え方、環境、教育、経済など、ライフスタイルすべてに関わり、よりよい未来をつくります。



▲オーガニックへの取組からSDGsを考える

## エシカル消費（倫理的な消費）に着目し循環型社会を醸成

オーガニックへの取組を広めるために「エシカル消費」に着目しました。これは「安くて良いモノ」や「自分にとってどれくらい得か」といった基準だけで選ぶことではなく、より広い視野で、「人や社会、地域、環境などに優しいモノ」を購入する消費行動やライフスタイルを意味します。

私たちが手にしているものが、どこで、どのように作られて、どのように運ばれて販売され、此処にたどり着いたのか。いわゆるすべてのモノの根源（オリジン）に関心を持ち、価値を見出すことで、モノの大切さを知り、命の循環を知り、豊かな心で暮らしていくことにつながります。

世界に目を向けると、農場（生産者）から食卓（消費者）までのトレーサビリティが求められており、生産者もまた一人の消費者です。

安全安心な暮らしは「エシカル消費」から。正しい循環型社会を醸成することを目指します。



グローバル標準のQRコードでトレーサビリティが可能  
 ▲ガッティ家のオリーブオイルでエシカル消費マークを取得

## 北区と世界がつながるプロジェクト～渋沢栄一の精神を次世代へ～

日本近代経済の父と言われる渋沢栄一はその著書「論語と算盤」において「仁義道徳と生産殖利は共に進むべき」と述べています。これは現代のSDGsにおける「誰一人取り残さない社会の実現」という理念につながります。

かつて王子飛鳥山の渋沢邸は、様々な立場の人がひっきりなしに訪れる交流の場でありました。さらに、今に残る青淵文庫や晩香廬、戦災で消失してしまった茶室：無心庵は国内外の賓客をお招きする民間外交の場、いわば迎賓館であり、当時の世界情勢について語り合う場でもあったことでしょう。

北区とも縁の深い渋沢栄一の精神を次世代へ繋げる活動を行うことによって、地域に対する誇りや共感、いわゆるシビックプライドを醸成し、地域をまるっとボトムアップ。北区から日本へ、そして世界へとつながることを目指します。

渋沢栄一の精神を次世代へつなげる▶



## 事業内容

らいふ経営グループ税理士法人西川会計は北区赤羽の会計事務所です。グループ各社の専門性を最大限に生かした総合的なサポートを提供しています。

- 住所：北区赤羽南2-4-15
- TEL：03-3902-1200
- FAX：03-3901-5600
- URL：<https://www.nishikawa-kaikei.co.jp>



## らいふ経営グループのSDGs

らいふ経営グループは、関与先・地域社会に対して、何ができるかを常に考え行動し続ける組織である

「顧問先の黒字化を実現し、企業の永続発展を支援する」

＜顧問先の黒字化支援＞

顧問先のパートナーとして黒字化を実現し、公正かつ最適な納税を実現します

＜経理の合理化を支援＞

バックオフィス業務のデジタル化を通じて生産的な働きがいのある仕事を実現します

＜働きかた改革を支援＞

会社で働く全ての人々の能力強化が図られ、働きがいのある職場の実現と社会保障の充実を支援します

## 地域貢献 赤羽くらしの無料相談会を毎年開催！

「地域の方が安心して暮らすためのお手伝い」を目的として、くらしの身近な悩みをいつでも相談できる場「無料個別相談会」を毎年開催しています。ファイナンシャルプランナーや弁護士など、暮らしに関する専門家が個別でご相談に応じ、悩みと一緒に解決していきます。この取組は2015年に始まり、2025年で11回目となりました。

2025年は、さらに「赤羽くらしのQ&A」ホームページが充実し、地域のくらしの情報や、専門家が質問に答えるQ&Aを掲載しております。

赤羽くらしQ&A→<https://www.akabane-kurashi.com/>

北区がより暮らしやすい街になるよう一緒に盛り上げていきましょう！



▲無料個別相談会

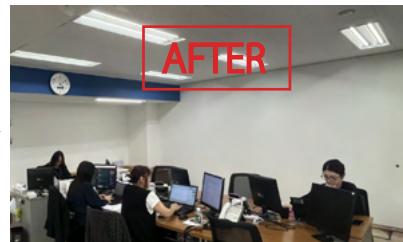
## 環境負荷の低減と職場環境の改善の両立を目指します

紙の書類を減らしデジタル化することで、環境負荷を低減するとともに空いたスペースを活用し、職場環境の改善につなげます。2024年には、紙を保管していたロッカーの50パーセントを削減しました。今後は、さらにデジタル化を進め、



▲ロッカーを廃棄し、紙が減ったオフィス

オフィスのフリーアドレス化やテレワークの割合を増やすなど、多様な働き方が選択できる生産的で働きがいのある職場環境を実現します。



## 顧問先の黒字化を支援します！

経理担当者のスキルが上がると、経営者に提供される経営情報の質が上がり、経営の意思決定がしやすくなります。それによって、会社が黒字となり雇用機会と納税が増えます。

2024年は、経理担当者のスキルをあげるためのセミナーを7回開催しました。2025年以降は、回数と種類を毎年増やしていくことを目指します。

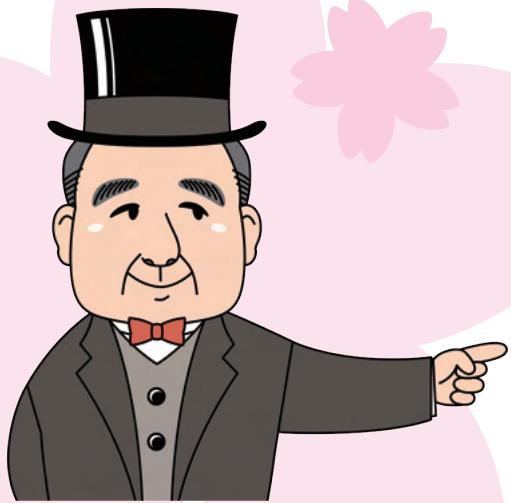
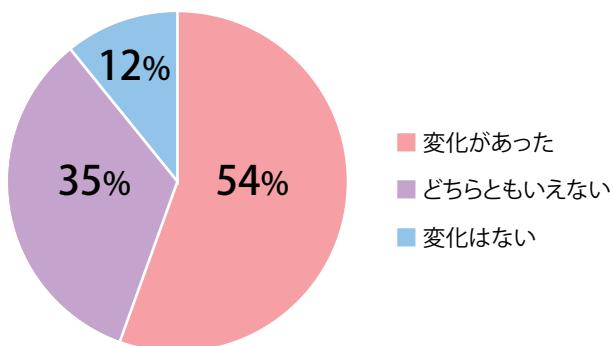
# 認証企業の声

SDGs経営を実践する認証企業を対象にアンケートを実施し、実践による変化や課題、今後SDGsに取り組む企業へのメッセージなどを取りまとめました。

## 調査の概要

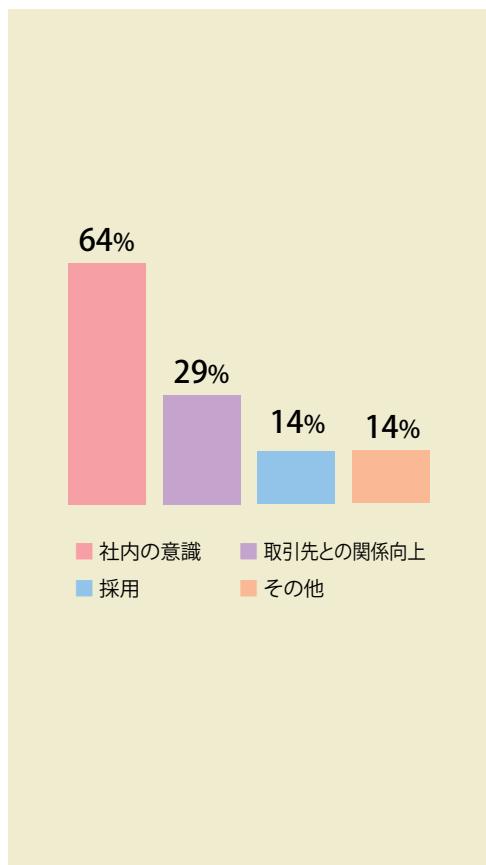
対象者:令和5年～6年度認証企業40社  
実施期間:令和7年6月～7月  
方法:アンケートフォームへの回答  
回答数:40社中26社(回答率65%)

## Q1 SDGs推進企業の認証を受けて変化はありましたか。



渋沢栄一翁

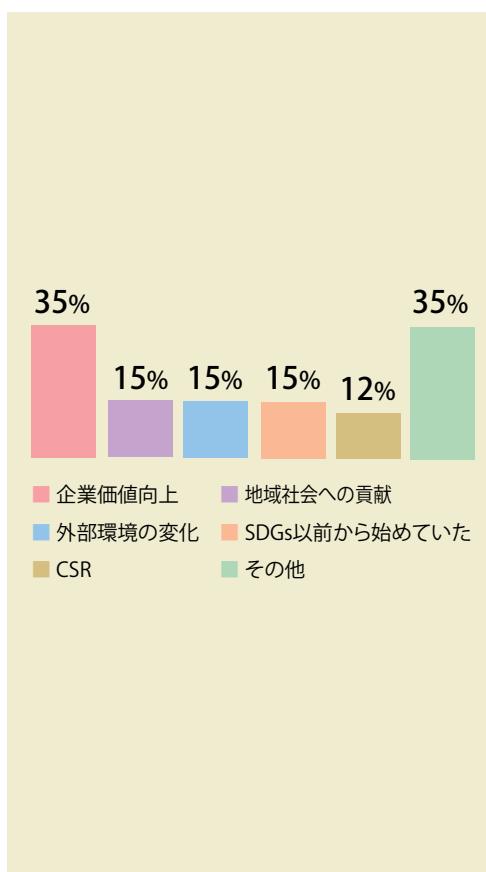
## Q2 (Q1で“変化があった”を選択した方) どんな変化がありましたか。



回答	割合	回答例
社内の意識	64%	<ul style="list-style-type: none"><li>SDGsと社内課題の連動性を理解した上で取り組めるようになった</li><li>名刺に認証企業のロゴマークを付したこと、社員は差し出す相手への説明責任から意識するようになった</li><li>紙に印刷する代わりにモニターを使うようになった</li></ul>
取引先との関係向上	29%	<ul style="list-style-type: none"><li>認証ロゴマークを名刺などに印刷することで、取引先などの話題作りに役立っている</li><li>仕入れ先から様々な協力を得ることができた</li><li>北区の企業から「北区の企業なのですね」と言われることが増えた</li></ul>
採用	14%	<ul style="list-style-type: none"><li>採用活動において徐々に効果が出てきている</li><li>募集資料に掲載したSDGsの取組を見た求職者や採用担当者に、取組内容を説明する機会ができた</li></ul>
その他	14%	<ul style="list-style-type: none"><li>北区SDGsコミュニティに参加して、他社の取組を伺うチャンスが増え参考になっている</li></ul>

Q3

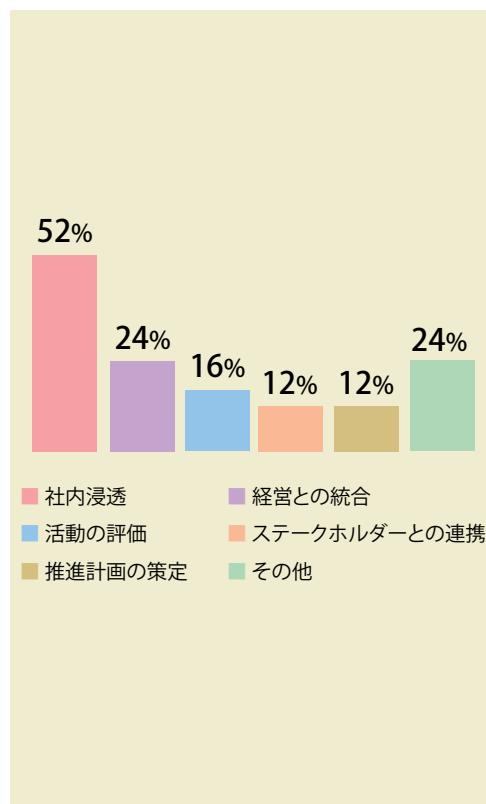
### SDGsの取組を始めたきっかけは何ですか。



回答	割合	回答例
企業価値向上	35%	・企業価値向上
地域社会への貢献	15%	・北区がSDGs推進に積極的に取り組んでいることを知り、地域企業としてその流れに共鳴・貢献したいという思いから
外部環境の変化	15%	・地産地消、環境への配慮、食育等ニーズの高まり ・新サービス・新規事業開発に役立てるため ・将来を見据えた対応
SDGs以前から始めていた	15%	・会社のビジョンとSDGsが一致している ・以前から環境や社会に関する取組を進めていたが、SDGsに関連づけて改めて方向性と取組を検討した
CSR	12%	・地元企業としての責任 ・環境配慮製品を取り扱うことで社会的責任を果たす
その他	35%	・会社の立ち位置を明確にするため ・社内業務改善の一環 ・取引先からの要請

Q4

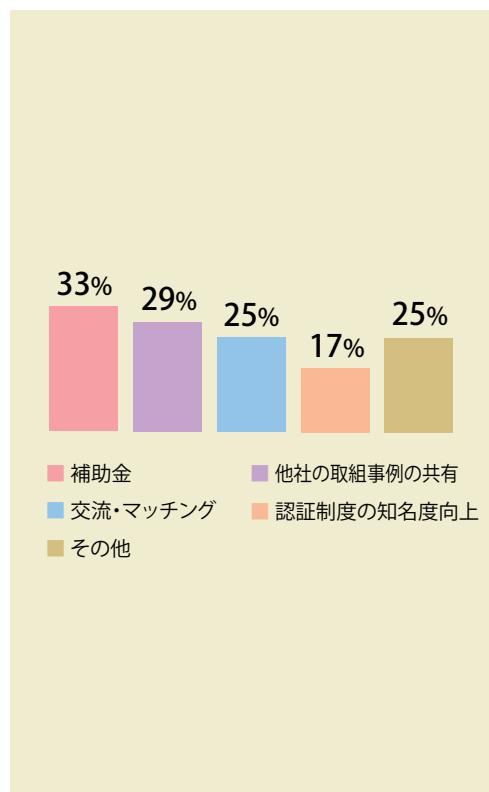
### SDGsを推進する上で課題だと感じる点は何ですか。



回答	割合	回答例
社内浸透	52%	・会社の課題に対して個人の行動改革が求められる ・多様な価値観を持つ社員に対するSDGsの浸透は、明確なゴールがなく難しい
経営との統合	24%	・日常業務と関連づけること ・複数取得した認証の維持管理
活動の評価	16%	・具体的な指標を用いて客観的に表すこと
ステークホルダーとの連携	12%	・取組を取引先と共有し、同じ意識で推進すること ・取引先のSDGsの関心度や温度差
推進計画の策定	12%	・現実的な取組を発掘するのが難しい ・信頼や企業価値の向上につながる計画策定
その他	24%	・社会情勢の状況把握 ・SDGsに対する意識の継続 ・見える化

Q5

## 本認証制度に期待することは何ですか。



回答	割合	回答例
補助金	33%	<ul style="list-style-type: none"> <li>補助金の優先活用</li> <li>補助金等の情報提供</li> </ul>
他社の取組事例の共有	29%	<ul style="list-style-type: none"> <li>認証企業や地元企業の取組に関する情報共有</li> <li>グッドプラクティスの共有</li> </ul>
交流・マッチング	25%	<ul style="list-style-type: none"> <li>認証企業間の交流</li> <li>他の認証企業や関連団体、区内教育機関とのビジネスマッチング</li> <li>行政主導での区民向けイベントの開催</li> </ul>
認証制度の知名度向上	17%	<ul style="list-style-type: none"> <li>認証制度の知名度を高めてほしい</li> </ul>
その他	25%	<ul style="list-style-type: none"> <li>一般消費者のSDGsの理解</li> <li>SDGsに関する勉強会・講習会</li> <li>認証取得による北区における企業価値の向上</li> <li>広報活動を後押ししてほしい</li> </ul>

Q6

## 申請を検討している企業に一言メッセージをお願いします。

SDGsの視点から自社の取組を見直すことで、日々の業務にどのように社会的責任が関わっているのかを改めて認識できました。持続可能な経営を目指す上で非常に有意義なステップだと感じています。迷われている企業の皆さんも、ぜひ挑戦してみてください。

自社のSDGsへの取組姿勢を内外に客観的にPRできるのでオススメです。

認証企業同士のコミュニティに参加できるため、企業との交流や情報共有など、非常に有意義な機会となります。

企業変革を考えている企業には良いと思います。新サービスや新規事業の創出において、SDGsを通じて目的の明確化と意識の浸透ができます。

これから申請される皆さん、ぜひご参加いただき、共に力を合わせてSDGsの推進を通じ、成長していきましょう。

SDGsの推進は、社会的責任の履行だけでなく、企業価値の向上にもつながります。この認証制度は、その第一歩を後押ししてくれる制度です。

SDGsに対する意識を継続していくために、認証はその一助になると思います。様々な提案も受けられますので、気軽に申請してみてはいかがでしょうか。

お互いの強みを生かした取組ができるように事業者間交流の場にしていくことができれば良いと思います。そのためにも多くの事業者の参加が重要と考えます。



# 北区内のSDGs連携が拓く 地域と事業の未来

(株)ひとまいる (旧:カクヤスグループ) × (株)旺栄

## 連携事例紹介

株式会社ひとまいる (卸売業・小売業)



株式会社旺栄 (建物管理業・飲食業・小売業)



北区SDGs推進企業である株式会社ひとまいると株式会社旺栄は、2023年度の認証をきっかけに連携を開始しました。旺栄社は、ひとまいる社が納品する食用油を飲食事業で使用し、その使用済み廃食用油をひとまいる社が既存の配送・回収物流網を活用して回収します。回収された廃食用油は、「持続可能な航空燃料（SAF）」として再資源化されます。SAFは、従来の燃料よりも大幅に温室効果ガスを削減できるといわれており、環境負荷の低減に貢献します。旺栄社は廃食用油処理の手間やコストの削減というメリットを得つつSDGsに貢献し、ひとまいる社は物流の強みを生かしたSDGsの実践として、事業にSDGsを深く融合させた連携です。

今回は、ひとまいる社の前垣内洋行代表取締役社長兼CEO、旺栄社の宿利武生代表取締役に連携についてのお話を伺いました。



▲左から、旺栄社の宿利武生代表取締役、  
ひとまいる社の前垣内洋行代表取締役社長兼CEO

## Q1 連携に至った背景を教えていただけますか。

**宿利氏**：連携のきっかけは、北区のSDGs認証制度でした。弊社とひとまいるさまが同じ初回の認証企業としてつながりができた後、企業間の交流の中でひとまいるさまの廃食用油回収事業を知り、ぜひ参加したいと強く思いました。これまで、廃食用油は産業廃棄物処理業者に回収を依頼していましたが、ひとまいるさまが食用油の供給から廃食用油の回収まで一貫したサービスを提供し、さらに同じ区内の企業であったため、利用を決めました。

**前垣内氏**：弊社にとっても、SDGs認証制度が連携の大きなきっかけだと感じています。廃食用油を再利用する取組を広げていきたいと考えていた中で、我々の活動にご賛同いただけた旺栄さまには大変感謝しています。弊社は元々配達と回収という物流網があったため、そこに廃食用油の回収を追加するにあたり、新たな設備投資なく事業を開始できました。

## Q2 現時点の進捗や成果があれば教えてください。

**前垣内氏**：取組開始から約1年間で、268トンの廃食用油を回収することができました。これが持続可能な航空燃料(SAF)に変わり、温室効果ガスの排出量の削減に大きく貢献しています。現在、約1,800件の飲食店さまにこの回収サービスをご利用いただいており、毎月約100件の新規契約があります。現状のキャパシティはまだ十分に余裕があります。

**宿利氏**：2024年秋から、ひとまいるさまの食用油を約200缶購入し、そのうち50缶以上

を回収いただいている。油は食品に吸収される分も考慮すると、高い回収率だと考えています。ひとまいるさまとの連携により、廃食用油の処理にかかるコストを削減できただけなく、食用油の仕入れと同時に廃食用油を回収いただけるので非常に助かります。



▲お届けした一斗缶を活用して回収しています。



▲旺栄社での回収のための梱包風景

## Q3 連携において困難な点や良かった点があれば教えてください。

**宿利氏**：連携を始めるにあたって、特に困難な点はありませんでした。むしろ、環境面での取組としてISO14001を取得している弊社にとって、廃食用油の回収コストを削減しながらSDGsに貢献できるこの連携は理想的なものだと感じています。ひとまいるさまの確立された物流プラットフォームを利用できるため、新たな手間や導入コストも発生せず、非常にスムーズでした。

**前垣内氏**：連携自体は旺栄さまもおっしゃる通りスムーズに進みました。しかし、回収した廃食用油をセンターまで安全に運搬する点では苦労しています。食用油が入っていた空の一斗缶で廃食用油を回収していますが、配送中にこぼれないように蓋やカバーの改良を重ねており、現在も試行錯誤中です。他に先行事例がないため、我々自身で方法を模索し続けるしかありません。



▲ひとまいる社平和島流通センターでの作業風景

#### Q4 今後の展望について お聞かせください。

**宿利氏**：SDGsへの取組は、個別のプロジェクトとしてではなく、通常の業務に深く融合させていくことが大切だと考えています。地元密着型企業として、今後はゴミに関する問題への貢献（例えば弁当容器のプラスチックリサイクル）や、学生寮運営における安全面の強化、そして清掃員の方々の社会的地位向上を目的とした教育的なアプローチにも注力したいと考えています。

**前垣内氏**：宿利さまの「業務にSDGsを融合させる」というお話に非常に共感します。弊社は物流の会社として、配送の力を生かして地域の皆さまの願いを叶えていきたいと考えており、廃食用油の回収はその一つです。また、現在取り組んでいるのが、飲食店の樽詰商品の小容量化です。20リットルという大きな規格の樽は運べる人を選んでしまうため、10リットル規格にすることで、女性を含む多様な人材が働きやすい環境づくりに貢献したいと考えています。SAFをテーマにした小学生向けの教育プログラムも協議中です。

#### Q5 最後にメッセージを お願いします。

**前垣内氏**：北区に拠点を置く事業者同士が、どんなに小さなことでも良いので話し合い、連携を深めていけたら良いなと思います。それが北区の特色として打ち出されると考えています。また、社内でのSDGsの取組については、事業に関連性の低い取組は従業員の賛同を得にくく、浸透しません。日々の業務に少しづつSDGsの要素を織り交ぜていくことが、持続可能な取組には重要であると強く感じています。採用面接において、面接に来る方々から会社のSDGsの取組について聞かれることが増えていることからも、その重要性を再認識しています。

**宿利氏**：SDGsは世界的な流れではありますが、北区がSDGsの取組において独自性を打ち出すことが重要だと考えています。渋沢栄一翁の言葉「正しい道理の富でなければ、その富は完全に永続することはできない」にもあるように、事業が正しい道理に基づいてSDGsの要素を包含していないければ、継続は困難です。認証企業間での活発なビジネスマッチングや情報交換が、地域全体のSDGs推進につながることを期待しています。



▲左から、旺栄社の出納氏、ひとまいる社の井本氏、伊藤氏、五十川氏





City of Kita

■ 発行日

2025年12月

■ 発行者

北区地域振興部産業振興課

〒114-8503 北区王子1-11-1 北とぴあ11階

Tel : 03-5390-1234 Fax : 03-5390-1141

URL : <https://www.city.kita.lg.jp>

刊行物登録番号  
7-1-059

